大正二年四月二十六日第三種郵便物認可 大正三年三月一日發行（毎月一回一日發行）大正三年二月二十八日印刷納本

新眞婦人

三月號

第十一號

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

看護婦見習生募集

年齢十八歳以上
學力尋常小學卒業以上
品行方正ニシテ傳染病ヲ有セザル女子ニ限ル

院長診察 月、水、木、金、午前
入院診後應需
林、峰間、兩副長ハ目下當院ニ在勤

電本（八八八八（病院用）八九八八（自宅用））

東洋内科醫院

東京神田駿河臺鈴木町二御茶水橋南

院長 醫學士高田畊安

相州高座郡茅ケ崎町海濱從停車場半里

電話ちがさき二番

南湖院

河野、高橋、兩副長ハ目下當院ニ在勤
院長診察土曜日午後。入院、診後應需

Digitized by Google

Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

イプセン傑作集第貳

島村抱月譯

海の夫人

（最新刊）

總布製美本
挿圖數葉入
正價九拾錢
郵税金八錢

此劇は『人形の家』の姉妹篇のやうなものである。ノラが殘した婦人の自覺問題を此劇の女主人公**エリーダ**が自由意志と自己責任とで解決して目出度幸福な新生活に入るといふ重大な喜劇であると共に、海の神秘と自由とを象徴した象徴劇であり、繼母と繼娘との關係を寫した人情劇である。藝術座一月演劇は此書を臺本としたもので其舞臺寫眞數葉をも挿入してある。譯筆は益々圓熟して創作と全く擇ぶ所がない。

イプセン傑作集第一

島村抱月譯

人形の家

（好評再版）

總布製美本
挿圖數葉入
正價金九拾錢
郵税金八錢

發行所　東京牛込早稲田　振替東京一一二三番　早稲田大學出版部

賣捌　神田東京堂　日本橋至誠堂　京橋北隆館　大阪盛文館　其他

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

三月號目次

口繪　街頭の女　新眞婦人社同人　（路傍活動九段坂上）

自信を得ました　西川文子

演說會の記　同人の一人

路傍活動の記

第一日目　日向きむ

第二日目　西川文

第三日目　井上すみ

第四日目　平澤稲

第五日目　吉川たみ

第六日目　柳子

第七日目　西川文子

第八日目　樋口緑

第九日目　島林あぐり

短歌三首　座古愛子

救濟金募集決算報告

婦人一心會の働き　遠藤はつ子

人種改善の責任者　露子

結婚と健康診察（二）　醫學博士　永井潜　至誠病院長　吉岡彌生

簡易哲學

カシタンカ（七）　A　T　女

婦人論反對説に答ふ（二）　瀨沼　夏葉譯

（オリブシユライネル女史の「婦人と勞働」紹介の八）　高野　重三

婦人運動昨年中の進步　フオセツト夫人

女人國記（四）　西川　光次郎

妖精の囁き　鳥林　あぐり

その夜（小說）　三野村　きよ

婦人論八つ當り　八方　醜婦

奥様十姿　玉　露　女

覺醒した婦人　吉澤　波留子

アンナカレンナを讀む　み　ち　子

新刊紹介

日本女性史－クルイロフ物語－新家庭講話－近松の人々－婦人解放論

募集文藝（短歌－俳句）

三月一日發行

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

海外文藝叢書

ガルシン作　谷崎精二氏譯　●●新刊發賣●●

第八編

赤い花

全一册

『露西亞に狂人を描いた作家は多いが作者自身狂人になつたゞけガルシンに及ぶ者はない』。とは故二葉亭氏の言である。トルストイの後繼者と迄囑望された此の天才の短かい一生は軈て近代生活の象徴だとも云ひ得る。錯亂せる官能と糜爛せる神經とを以てして尚且生を熱愛する一念を捨てなかつた彼が如何にして狂に落ち、死に面したか、本書は此の疑問に答ふる物であり且又近代露西亞文學中で重要なる地位を占むべき物である。

野口柾夫氏裝幀
●新型頗美本●
官價金四十五錢
●郵稅金四錢●

横文邦譯文藝

ウエデキント作　深澤白人氏譯　●●新刊發賣●●

第一編

犠牲の女

附　肉の愛　評傳

●六號横組●
●携帶至便●
●新型美本●
定價金參拾五錢
●郵稅金四錢●

獨逸文壇の白星で近代文藝壇上に一異彩を放つウエデキントが半生の經歷は遂に本書を產みたり。『犠牲の女』は性慾の犠牲となり淪落の淵深く沈みたる可憐なる一少女の懺悔を叙し。『肉の愛』は完全なる肉慾滿足は人をして一步神に近づかしむと云ふ意を寓す。共に彼が道學者輩に痛棒を加へたる性慾教育の一端なり。本譯は國字を歐風に横組したる最初の試にして卷頭窪田空穗氏の横組主張論を添ふ。乞ふ文學愛好者の鑑賞を俟つ。

發行所　東京市神田區南神保町　振替東京二四八五九番　泰平館

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

東京市麹町區內幸町一丁目三番地
電話新橋長二一〇〇、二一〇一番
振替貯金口座 東京一八、九〇〇番

太平生命保險株式會社

社長 中村靜嘉
專務取締役 楠秀太郎
取締役 村井貞之助
取締役 內野五郎三
取締役 前川善平
取締役 倉知誠夫

取締役 左右田棟一
取締役 舟木錬太郎
監查役 潮田方藏
監查役 左右田信一郎
監查役 中田敬義

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

文學博士　三上參次先生序
普通學務局長　田所美治先生序

久保田辰彦君新著

日本女性史

洋裝菊判總布上製頗る美本……正價金貳圓　內地送料十五錢

内容目次

第一編　緒論
第一章　日本女性の地位
第二章　歷史的概觀

第二編　神代の女性
第一章　太古女性の活動
第二章　太古女性の節操

第三編　上古の女性
第一章　上代女性の活動
第二章　嫉妬運動の例證
第三章　上代女性の節操

第四編　萬葉時代の女性
第一章　萬葉女性の特色
第二章　女流作家の双璧
第三章　掖庭女流の勢力

第五編　平安朝時代の女性
第一章　平安朝初期の女性
第二章　宮掖と藤原氏
第三章　一條院と後宮
第四章　女流文學の全盛
第五章　清少納言と紫式部
第六章　女性節操の紊亂

第六編　源平時代の女性
第一章　源平女性の特色
第二章　建禮門院德子
第三章　源平女性の節操

第七編　鎌倉時代の女性
第一章　鎌倉幕府と女性
第二章　掖庭女性の双璧
第三章　鎌倉女性の節操
第四章　女流文學の衰頽

第八編　南北朝時代の女性
第一章　南朝女性の特色
第二章　北朝女性の特色
第三章　卿將兩様の名花

第九編　戰國時代の女性
第一章　戰國女性の特色
第二章　大阪陣中の女性
第三章　戰國女性の文學

第十編　德川時代の女性
第一章　柳營大奥の女性
第二章　大奥女性の節操
第三章　女性士道の精華
第四章　遊女傾城の一斑
第五章　女流文學の再興
第六章　幕末維新の女性

第十一編　結論
第一第　時代女性の同顧
第二章　現代女性の傾向

發行所　弘道館
東京神田北神保町
振替口座東京八一五
電話本局三四三二

小說不如歸の武男の母一三島子爵母堂の半面

婦人世界

三月一日發行 九卷第三號 一冊拾五錢 郵稅一錢五厘 半年七冊前金一圓五錢 一年二圓五錢

▲寢具の研究……村井弘齋

◎母に脊負はれて生死の巷に往來した思出……芳賀爵學博士

◎貧苦の間に子供を教育した未亡人……植松好仁氏の母堂

◎凶作に泣く東北の婦人の生活……婦人記者

▲誤り傳へられたる三島子爵母堂の眞面目

◎掌に現はれる人の運命……婦人記者

◎子供の樣子で家庭の事情がわかる……岸邊福雄

◎婦人界に流行の謠曲……下田歌子

◎子供の齒の生へる注意

◎初生兒の營養 加藤博士

◎香の物の漬け方……栗塚

◎若き妻の店番日記……

◎歷史小說靜御前……仰天

▲長篇小說 銀笛 新聞紙上を始め天下婦人界の大評判となりし此傑作を一讀せよ 小杉天外

發行所 東京京橋南紺屋町十二 實業之日本社 振替口座三二六番 賣捌 全國各地書店

(説明第一頁にあり)

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

新時代の婦人は須らく科學思想を
涵養せざるべからず

京都帝國大學講師
同志社大學教授
シドニー・ギュリック先生著

新刊

科學概論

■菊判五百頁
定價一圓六十錢
■郵稅十二錢

東京京橋尾張町
警醒社書店
振替東京五五三

著者が該博なる知識と、斬新なる見解と、巧妙なる手腕とを以て、科學、哲學、宗教、神學、美學、倫理學、其他あらゆる廣義の諸科學を分析し、綜合し、而して概括的知識を提供せるは、本書の特色なり。

本書に關する批評

■東京時事曰く。近來科學と人生との接觸を要求するの聲漸く高まらんとしつゝある折柄。此好著あるは蓋し旱天に聚雲を竢つの感なくんば非ず。本書は著者が積年の蘊蓄を傾倒して物せる者丈ありて、取材頗る豐富。之を記述するに首尾一貫せる組織的の筆を以てせるは好個の學術書也

■人間が個人的にも社會的にも幸福に向つて進まんが爲めには、廣く諸科學の性質及關係に就て、正當なる知識を獲得するを要すとの見地より試みたる一種の講演なり。刻下の日本人に對しては殊に意味ある述作として謝すべし。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

支店　京城　大阪
出張所　京都　廣島　名古屋　仙臺　金澤　九州　臺灣

東洋生命保險株式會社

東京市日本橋區本町一丁目十一番地
電話本局（四五一〇番　四五一一番
　　　　　四五一二番　四五一三番）
振替貯金口座東京一七九一番

神田産婆看護婦會本部

神田助産所

東京神田區裏猿樂町六番地
電話本局　千五百三十七番

一神田助産所は遠近を問はず往診、宅診。入所分娩の時は分娩迄、食費丈。分娩後は尤も輕便に特別、實費理由ある方は施料
一看護婦は遠近に拘らず迅速に御用命に應ず

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

株式會社 萬世銀行

東京市神田區須田町六番地

電話本局七一一、五五二番

株式會社 萬世銀行本郷支店

東京市本郷區春木町三丁目十一番地

電話下谷一五八六番

株式會社 萬世銀行下谷支店

東京市下谷區坂本町三丁目四番地

電話下谷二二六〇番

胃腸新藥 ヂゲスチン

日本及歐米各國專賣特許

◎本品は幾多學理的の研讚を重ねて案出せる特別の製造方法に依りて製造するものにして食物の主成分たる蛋白質及澱粉質を完全に消化せしむる特徴を有す

◎醫治効用

消化不良、重症後の恢復期、脚氣、營養補給の目的にて肺結核其他の呼吸器疾患に適し、特に牛乳を消化する偉効を有するが故に小兒科に賞用せらる

營養增進（ヂゲスチンを常用すれば身體の營養を增進す、卽ち體力を強壯にして精力を保持し、元氣を旺盛にすべし

◎詳細說明書御申込次第送呈

◎全國藥店に販賣す

東京市日本橋區本町三丁目

合資會社 圓城商店

（振替東京二四一三　電話本局長一四四三）

東京衛生試驗所長藥學博士田原良純先生分析

陸軍三等軍醫正正六位勳六等信太虎雄先生圖案

家庭衛生臺所便覽

◎定價金拾錢 送料貳錢

◎日用の食品百四十餘種に就て一々滋養分含量を示しなほ消化時間を明にし之を着色圖により婦女子にも解し易くせり身體の强壯を望む人は本書によりて日常食品を撰擇するを最も必要とす

◎東京日本橋區本銀町二丁目九小笠原大洋堂（振替東京二三四八〇　電話本局四一四三）

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

明治貳拾七年設立

東京市麴町區內幸町一丁目

仁壽生命保險合資會社

電話新橋二六四特長二六五

振替口座東京一一二三〇番

Digitized by Google

Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

柳川春葉先生作
鰭崎英朋先生畫

かたおもひ

上巻新刊

木版極彩色畫二葉
コロタイプ版四葉
正價金九十五錢
小包料金八錢

柳川春葉先生作
鰭崎英朋先生畫

生さぬなか

上巻中巻下巻後編四冊出來
續編近刊

木版極彩色畫二葉
コロタイプ版四葉
正價各金九十五錢
小包各金八錢

柳川春葉先生作
鰭崎英朋先生畫

母

前編
後編

木版極彩色畫二葉
コロタイプ版四葉
正價各金九十五錢
小包各金八錢

柳川春葉先生作
鏑木清方先生畫

女一代

上巻
下巻

大判木版極彩色畫及
コロタイプ版四葉
正價各金壹圓
小包各金八錢

菊池幽芳先生作
鏑木清方先生畫

百合子

前編
中編
後編

大判木版極彩色畫及
コロタイプ版四葉
前編後編各一圓十錢
中編金壹圓各小包八錢

菊池幽芳先生作
鏑木清方先生畫

百合子畫集

上巻
下巻

コロタイプ版五十葉
正價各金一圓二十錢
小包各金八錢

菊池幽芳先生作
鏑木清方先生畫

秘中の秘

前編
後編

大判木版極彩色畫及
コロタイプ版四葉
正價各金九十五錢
小包各金八錢

菊池幽芳先生作
鏑木清方先生畫

月魄

前編
後編

大判木版極彩色畫及
コロタイプ版四葉
正價各金壹圓
小包各金八錢

東京市麴町區平河町五丁目五番地
發兌元（特電話番町二〇九三 振替東京三八一七）金尾文淵堂

見よ‼新時代人の渇望して止ざるショウの精髄は集つて本書にあり

■■ 荒畑寒村氏譯 ■■ 新刊發賣 ■■

ショウ警句集

之を譬ふるに、**ショウ**の作物は一個の食物なり。而して本書は、その滋養分のみを壓搾したる**エツキス**なり。故に本書一巻は、優に**ショウ**の著作全體に匹敵するものと云ふを得べし。附録として『GBSの人物』、及び**ショウ**の演説『家婦所得税論』を添ゆ。敢て本書を近代人の座右にすゝむ。

四六判洋装 美本全壹册 定價五十五錢 郵税金六錢

最新刊

犠牲の女

附 肉の愛 作者評傳

ウエデキント作 窪田空穂氏序 深澤白人氏譯

全一册

近時性慾問題の作家として、はた性慾教育論者として盛名ある**ウエデキント**氏が傑作で、性慾の犠牲となれる可憐なる少女の告白を叙し、完全なる肉慾滿足は人をして一歩神に近つかしむと云ふ戀愛の神聖を寓意せるものなり。本譯は國字を歐風に排列したる新らしき試みなり。

歐風横組 新型美本●● 價參拾五錢 郵税金四錢

海外文藝叢書

- 一篇 七死刑囚物語 アンドレーフ作 相馬御風氏譯
- 二篇 心の扉 ザイツエフ作 昇曙夢氏譯
- 三篇 月光 モウパッサン作 中村星湖氏譯
- 四篇 三つの死 トルストイ作 加藤作二郎氏譯
- 五篇 死の歌 ズーデルマン作 鈴木悦氏譯
- 六篇 廿六人と一人 ゴーリキイ作 野尻抱影氏譯
- 七篇 處女 ダンヌンツオ作 田中介二氏譯
- 八篇 赤い花 ガルシン作 谷崎精二氏譯

新型袖珍美本 定價各册 金四拾五錢 郵税各四錢

發行所 東京市神田區南神保町 振替東京二四八五九番 泰平館

試用分定價十錢　三日分定價二十錢　五日分定價三十錢　德用向定價五十錢

論より證據

評判より實驗は一層有効

一時早きは一時の得

今直ぐ御試しあれ

内外到る處行商部と特約店あり

至寶湯主治効能

婦人産前産後の諸病、子宮病、逆上、頭痛、耳鳴、悪阻、浮腫、(血脚氣)目暈、ヒステリー、神經諸症、肩攣、下腹腰足冷込引つり痛み、月經不順より起る諸病、月經前後の下腹痛み、白血、永血、こしけ、しびれ、寸白、難産、流産の癖ある人等其他血の道一切及び疝氣、癪、引風に効能尤も著し。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

西川文子新著（いよ〳〵發賣）

婦人解放論

四六判約三百頁
布製函入頗美本
定價金壹圓
送費金八錢

▲折りにふれての感想は、『新眞婦人』に掲載して居りますが、まだ私の考を纏めて充分に書いたことがありませぬので、今度此の書を著しました（序文の一節）

▲要目　第一章婦人の自覺（イ）歴史上の婦人（ロ）婦人の自覺（ハ）社會の變遷と女性　△第二章性慾問題（イ）性慾に關する思想の變遷（ロ）性的敎育論　△第三章男女交際論（イ）男女交際の歴史（ロ）男女交際の利害論　△第四章結婚論（イ）結婚に關する思想の變遷（ロ）戀愛道德論（ハ）晩婚論　△第五章夫婦論（イ）家庭の不和（ロ）理想的の夫婦　△第六章親子論（イ）母たるの幸福（ロ）母の力（ハ）小供に關する智識　△第七章婦人と社會（イ）婦人と實社會（ロ）婦人と社會改善（ハ）賣淫婦を論ず　△第八章不品行亡國論（イ）オリブ・シユライネルの論（ロ）日本歴史上の事實

發行所　東京市本郷區元町二の三十　振替口座東京一五七八〇　中央書院

取次　東京本郷區駒込林町二〇六　振替口座東京二四五五六　新眞婦人社

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

新眞婦人第十一號

街頭の女

女も時に街頭に立て働かねばならぬことは、私共の主張ですが、今回いよ〳〵街頭に立ち、「速かに一椀の飯を與へよ、今や北海東北の同胞は餓死せんとしつゝあり」との立看板を出して救濟金を集めました口繪は二月十一日其の活動の最終の日に、九段坂上で撮影したものです。向て右より

1平澤稻子、2日向きむ子、3西川文子、

4尾崎恒子、5伊藤朝子、6高木富代子、

7井上すず子、

です。最終日に一同出揃うて紀念の爲め撮影の心組でしたのに、連日御出席下さつた樋口さん埴原さん其の他二三の方々の、此の日折惡しく缺席されたのを、遺憾に存じます。

活動の詳細は以下の、論文、記事、報告などで見て下さい。本號は紙面の大部分を此等で埋めました。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

自信を得ました

西川文子

私共が去る二月二日夜、神田の基督教青年會館で、東北、北海道の窮民救濟の爲めに演説會を開き、其の翌日から十一日まで、別項記載の如く路傍に立て救濟金を集むるに至つた動機は、新聞で米五合のことで四人の者が死んだと云ふ記事を見てゞあります。

北海道の函館在で、或夫人が其の餓ゑに瀕せる隣人を氣の毒がりて、隣家の奥さんに米を五合貸してやつた。其の直ぐ後へ夫が歸て來たので、夫人は其の話をすると、夫は怒て、如何に氣の毒でも平常とは違ふ、自分も困つて居る今日、何せソンナ馬鹿なことをするか早く取り返して來いと叱り付けた。ソコで夫人は止むなく隣家へ行て、既に洗てお粥にしようとして居る所を取り返して來た。取り返して來た夫人は、ア、實に氣の毒であつたと喞ちて、多少の怨言を夫に向て吐いた。スルト夫は再び怒て、何にを云ふかと薪で夫人を撲つた、當り所が惡かつたと見へ夫人は一撃で死んで了つた。話變つて米を取り返された隣家の奥さんは、之れで二人の餓ゑたる小供にお粥を與へることが出來ると、悦こんで煮て居る所を、突然取り返されて了つたので、失望の餘り、二人の小供を使に出して置いて縊首し、二人の空腹なる小供は又、使ひに行く途中、雪中で凍死して了つた云々。

之れが其の新聞記事の要領で、日向夫人は此の記事の新聞に現はれた翌日、私は此の記事を讀みて昨夜は眠られませんでした、私共も何にかせずには居られませんと云つて起きぬけに飛んで來られた。私も其の記事を讀みて同じ思ひをして居る際でしたので、早速相

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

談の上、本誌に關係ある方々に謀りまして、遂に立つに至りましたのです。其の活動の詳細は別項記載の如くです。

さて此の仕事をして見て、私はコウ云ふ自信を得た、私は本號の卷頭に先づ今回得た自信に就て一言して置きたいと存じます。

●第一に『身を殺して仁を爲す』と云ふ語があるが、併しソウ云ふ大仁になると非常の場合でないと出るものではありません、ソレで人に望むに多きを以てすると失望します。けれども何人にも必らず多少の仁心があつて、其の微動は絶えず何人の心中にもあるのですから若し茲に何にか方便して、人の同情に訴へる働きをするものがあると、意外に多くの金が集まります。私共は今回路傍に立ちて救濟金を集めた經驗から、世には善人の多いのに驚きました。又一人喜捨するものがあると、其の後から來る人の必らず眞似するのを見て、善事の傳染する力を實見して大きに悟る所がありました。私共の活動が終了しての翌々日でした、私は兩國橋上に坐して人に憐れみを乞へる乞食を見て、私共も乞食をした罪ほろぼしにもと思つて、一錢投げてやりました、スルト今までは誰れも乞食にやるのを見ませんでしたが、私がやつてからは、來る人も、來る人もやりました、私は茲でも善事の傳染を實見したのです。

●第二に、かねて別項記載の『婦人一心會の働き』にあるが如き御話を承はつては居ても、別に深く感じませんでしたが、今回、私共自から僅かの金と時間とを犧牲にして働いて見て、意外に多くの金圓を集めることが出來たので、今後も自分の出す僅かの寄附金に、自分の節約し得る時間を添へて出して、働けば、其の金を數十倍に若しくば數百倍にして出すとが出來るから、ソウ云ふ機會には必らずソウ仕樣と覺悟しました。

●第三に、世には女の力は弱いと云ふものがあるが、成程弱いかも知れぬが、弱い力も用ゐやうでは強くなるから一概に弱いとは云へぬ日露戰爭中の美談の中に、千葉縣佐倉の聯隊も滿洲へ行かねばならぬ事となつた。いよ〳〵出發の時刻となつて兵隊が皆、佐倉の

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

停車場で汽車に乘り込んだ時に、十二三歳になる一少女が半紙で拵へ、赤インキで日の丸を書いた、日章旗を澤山手にして出で來り『どうか叔父さん今度の戰爭には勝て下さいよ』と云ながら、汽車の窓から首を出して居た兵隊さんに、一づつ渡して歩いたどうせ戰爭に行つたら死ぬのであるからとて、今の今まで、飮み食ひは勿論、遊ぶ丈け遊んだ兵隊さん達なれど、少女の一言に感激して一同に『どうして勝たずに居られよう』との氣になつた。

佐倉の聯隊は山東省へ上陸し、直ちに金州城へと志した、途中兵士は惡路に惱むこと甚しかつたが、其の時想起したのは少女の一言である。

　叔父さん、勝て下さいな。

此の一言を想起して發奮し、期に後れずに金州城まで到着した。ソレから南山の戰ひとなつたが、此の戰は實に激戰であつた。朝早くに始まつて夜暗くなるまで續いた戰爭で、手も足も棒の樣になつて殆んど動かなくなりし程であつたとの事である。苦戰の頂上に達した時、一人の兵士が、少女から貰つた紙の日章旗を左手にて打振り、右手に劍を握り持ちて、少女の一言を絶叫した。

　叔父さん、勝て下さいよ

　叔父さん、勝て下さいよ

佐倉の聯隊は、此の一言で奮ひ立ち、モウ一辛抱した、斯くて南山の戰爭は我軍の勝利となつた。

と云ふのがあります。此の樣に弱い力も用ゐやうで有力となります。私共婦人は女の弱い力の如何に有力なるかを時々示さねばなりません。其の機會を逸して平然たるは女性の天職を怠るものと申さねばなりません微力なる私共の今回の働きが、幸に多少世間を動かし、幾分北海道、及び東北の爲めに盡し得たばかりでなく、私共自ら右の如き自信を得たことを悅こび、感謝の情に堪へません。

右の如き自信を期せずして皆さんも得られた事を此運動の最後の日の夕方語り合つて發見し、一同大變に喜ぶと共に慈善金を集むると云ふ事ばかしでなく、政治運動でも何でも熱烈なる婦人が立てば男子より有力なる効果を奏すると云ふ事を語り合ひました。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

演説會の記

二月二日の午後五時より、神田美土代町の青年會館で、北海道及び東北窮民の爲めに、演説會を開きました。午後四時前より早くも來會者續々ありて、定刻六百名以上に達し、後ちには八百名以上となりました。丹いね子女史開會の辭を述べ、次に西川文子女史は『婦人と同情』に就て、昔の饑饉と今の饑饉との比較談から始めて、救濟の爲めに働く事は婦人の天職なりと論じ、次に過般東北及び北海道を視察して歸へられたる杉本毎夕新聞記者に請ふて、其の視察談をして頂き、次に小具貞子女史の『婦人はよろしく實を取るべし、されども亦た花も捨つべからず』との趣意の巧妙なる演説あり、次に吉川たみ子女史は風邪の處をおして出席『慈善と家庭教育』に就て演説し最後に渡邊東朝記者に請うて東北、北海道視察談をして頂きました。矢島先生は病氣にて出席出來ず、山下敬子さんは、出席しやうとせられた際、お母さんが急のおけがで會場へ一寸御斷りに立寄られました。之れで豫定の演説は終つたのです。此の時、日向、西川の兩夫人は演壇に現はれて、明日より向ふ九日間、路傍に立ちて救濟金を集むる決心である、今夜も、之れより私共が廻はりますから、多少に係はらず喜捨して下さいと、兩人代る〱に述べ立てて壇を下り直ちに當夜出席の他の婦人方と共に寄附金を集めしに、十五圓六十錢集まりました。

まだ時間が早いので、折よく來會せられたる青森縣弘前の牧師山鹿氏に窮狀の實際話をして頂き、尚ほ西川光次郎氏吉田庄七氏等の御演説があつて九時半に閉會しました。

當夜出席事務を分擔せる會員は、井上、岩崎、塩原、尾竹、尾崎、丹、小口、水島、平澤、樋口、日向、西川等の諸婦人です。

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

路傍活動の記

第一日目（二月三日）

歌にばかりうたつてゐた路傍活動もいよ〳〵今日から、『速に一椀の飯を與へよ今や北海東北の同胞は餓死せむとしつゝあり』と文子さんの書いた立看板を背に日比谷公園前に立つ。午前十時といふに集まつた同人は、西川文子樋口綠子平澤ふく子、井上すみ子、埴原桑喜代、私、其外に婦人文藝社の寺田よし子さんが手傳に來て下さつた、年の暮にする救世軍の慈善鍋から思ひついたお櫃をおひつ臺にかけて其臺にくま笹をかざり綿の白雪を積らせたが、ひどい風に、なかばは飛んでしまつた。はじめは活動的に馳けまわつて賴んで見たが成績が惡い、チラシを渡して落着いてゐる方が入れる人が多い、私たちが博品館の中などで往々感じる樣な心理によるのかも知れないと悟つてからは、大に靜的になつた。黃色や白の新聞を賣る人々や電車の旗を振る人や巡査などと一緒にひなたぼつこをしてゐると文學の上で嗅いだロシヤの匂ひが大ぶする。その人々は昨夜の演說會の評をしたり、風にたをれる看板を手拭で公園の柵に結びつけてくれ寄附をして吳れたりした、電車の窓から首を出して二十錢寄附した人があつた、顏を忘れて再び賴んだら是で二度ですと笑ひながら入れていつた人があつた。七歲ばかりの男の子が二人でひそ〳〵はなしてゐるのを何の氣なしにきくと、子供はいくらなんだらうと云つてゐた、抱いてゆきたい程可愛かつた。鼠セルの袴に茶のキヤツプをかむつた四十あまりの紳士が五圓紙幣を入れた名を聞いたが、いはなかつた、ふろしき包や新聞を手に持つた、六十近い男の人が、『何宗のです』といふ、宗教のふせではない是々の爲にと答へると『さうですか』と云つ

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

て懐中から手袋や紙や珠數や黄表紙の法華經の本をとり出してしばらく探して一番深い底の方から紅白の糸であんだ小さいさいふを見つけ出し中から二錢出しておひつへ入れた、あとの殘りは十錢に足らなかつた、レプタ二つを神にさゝげた貧しい寡婦の故事を思ひ出して本當に心から嬉しかつた、こんな間にも後のたて札の字を讀むと私は胸が一杯になる、日比谷倶樂部で中食、午後小林泥醉と自稱する醉うた老人とちかづきになつた、その人曰く

君等大にやつた吳れ給へ、かういふ事は大好だ、いろ〳〵な事をしてみたが人は如何しても宗教でなくては助からない、己はキリスト教にならうとしてゐる、孔孟もよいがふるい、どうもキリストより偉い者は出さうもない、だから信じやうと思ふ、否もう信じてはゐるんだ、此頃の世の中のありさまや靑年男女の墮落をみては己もまだ死れないね、國民大會なんて何んだ、野蠻の極だ、もつと根本的に宗教で解決すべしだ、己は悲哀を感じると酒を飲む、がそれもよくない、己は信者になれば酒もやめろ、君と一度大に話してみやう名刺を下さいまし、斷然さうして信者になる紹介して吳れ給へ、一度握手をして……では大にやつてくれ、失敬、

日比谷倶樂部へよつてお櫃をあける、金貳十六圓六十七錢あつた。（きむ）

平澤樣の手から赤坂の橋本千代子苗村ちか子さんからの十錢づつもこの中へ入れました。

第二日目（二月四日）

上野廣小路電車交叉點ミルクホール前。

暫らくするとすみ子さんが來られる。どうも今日は昨日の樣なわけには行ぬらしい、道行く人の種も惡いのに、小供が一杯たかつて來る、心細いと思つて居ると、乘替を利用して景氣を見に來た、けれどたつた二人で氣の毒だからといつて女子文壇の寺田さんが加勢して下さる。其の中に暑い〳〵と云つてかけて來た日向さんが、近所の取つけの下駄やへ外套をぬいで來て大に活動なさる。みち子さんの手紙を持つて來た人をまだ肩上げのある樣な小さい人だと思つて、『川路歌子さんに托す』としてある狀袋を不思議に見つめて居ると、この方が川路さんですと日向さんが云はれて少々

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

面喰つた。みち子さんの代りに手傳します、これからも暇があれば出ますと云はれた初々しさは一寸女優とは見えぬ。午後になつて、超然家のたぬきさんが、午後の出敎授を休んでまで來て下さつたのは、何とも云へぬうれしさであつた。丸髷の結立てゝ美くしい可愛らしい生々した花嫁然たる人や。男としか思はれぬほど大きい〳〵體格でありながら『きまりが惡くて耻かしくて〳〵仕方がないのですもの、』日向さんの活動してゐらつしやるのを見て、面目なくて私とても駄目だと思つて暫らく電信柱にかくれて居た』などと無邪氣に大聲で、耻かしい人とは受取れぬほど快活に語つて來た人もあつた。その中に『何々さんのお孃さんは居らつしやいますまいか』と、なまめいた聲で、此人を尋ねて來た此邊の藝妓連によつて、『感心だ、結構だ』と次から〳〵知人を誘つて來て、耻かしがる人やおもしろがる人の、半玉中年增さま〳〵の手から大におはちに入られた。中に湯島同朋町箱屋中として五圓包まれたのや『新松葉』と云ふ狀袋に入つたのややいろ〳〵あつた。今來た藝妓衆の中におしゆんさんとか光琳のおかめさんとか、おひちとか何々とか云ふ名妓もあつた相です。男の人が此種の人を好きになるのも無理はない、私達でも死んだ樣な婦人や同情心のない、チラしさへ取らぬ樣な人に比べてどうです、全く好きになつちまつた〳〵と切りに感服して居た人があつた。實際『分りのよい人』とはこんな人を云ふのだらうと私もしみ〳〵思つた。前の加島屋と云ふ砂糖、鰹節やさんからも、小さい人や番頭さんや、御主人が替る〳〵出て來て喜捨して下さつた。

Ｈさまの御良人がにこ〳〵して來られてお晝飯や休憩所の心配までして下さつた。誰れにも甘へたり甘へられたりするあたゝかい、憩みの場所はあるもの丶、他人の美くしい夫婦生活を見ると羨ましく思はるゝものです。伊藤朝子さんも淺草に行く途中だと云つて御良人と御二人で見舞つて行かれた。私も散步に來られた夫と、迎ひに來た小供達が前後して出合つて待つて居て貰つて一しよに歸つた。今日はうれしい日で然か

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

も意外の處から同情が現はれて成績も昨日より好かつた。二十九圓〇六錢五厘。

出席者は井上すみ、岩崎愛、日向きむ、川路歌子、尾崎垣、尾竹一枝、寺田よし、西川文の八人。

第三日目　（二月五日）

今日は今までにないあたゝかな靜かな日であつた、殊に緣日のこととて人出多く、、自分達の廻りは十重二十重の人垣であつた。自分はおくればせにかけつけた、朝からあぐりさんお一人であつたとやら、何事も云はないで感謝す。人垣のあいまよりはいろいろの評をされた、いゝところの奥樣がたが困る人のために金を募るんだいゝ心かけだとか又は救世軍の手下であらうとか。今日は意外にも私と日向さんとたつた二人で、近所の毎夕に居る丹さんがあわてゝかけて來て見てはどうしても此光景を原稿にかゝねばならぬと云つては歸つたり來たりそは〳〵して居られる。その中に私のお隣りの奥さんも來られた。此の日の特別寄附は西川さんがあづかつて來た、津村順天堂からの壹圓と同氏の友人南操子と云ふ方の來て五十錢入れられたのと、休憩所にした、蠣殼町三ノ一二福盛社の壹圓で、總體で三十四圓三十四錢、今日はおしなべて同情者の多かつた事何より嬉しかつた。廣告紙がなくなつたのであぐりさんが衆人にわかるやう、竹に紙をはりしめされたのには感心した。人垣を押わけて來た一美少年があぐりさんの傍より、自分達の此擧を人なつかしげに聞くのである、說明おわるといかにも同情と云ふ表情して、山賊會にまで付いて來た可愛い少年であつた。會場の福盛社ではあぐりさん天勝と間違られたとか、御氣の毒さま。福盛社の厚志に多謝す。歸途久松署へ今日の保護を感謝すべく一寸立寄りて歸宅す。（すの字）

出席者は、西川、日向、寺田、岩崎、丹、井上すみ。

第四日目　（二月六日）

今日は朝から曇り日で一時は白いものが降り出したがすぐ止んで仕舞つた。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

場所は新橋博品館脇、例の布看板、おはちを据ゑて、十時頃から活動を初めた。立派に盛裝した婦人でも、たゞちらしを受取つたばかりで過ぎるがあり、中にはあまりきれいでもない老母さんが、わざ〳〵尋ねて來て入れたり、男子の方でも可なり良い風彩をした人でも唯一笑して過ぎるあり、番頭さんや、大きな包を負うた小僧さんが赤い顏しながら入れたり、また可愛い少女が入れましたのに感じて私はおもはず「あなたはお怜悧さんね」と云ふたら、そばにゐらつしやつて西川樣がお笑ひになつた。此處は流石に藝者の行ききが多い、私はこんな時こそすがつて見やうとの好奇心から努力しましたが成功半分、肘鐵砲半分、この中の一人が眉に八の字をよせながら「雜煮鍋と同じだ」なんて、餘義なく入れて行つた。

かうして立つてる間は入れてくれさうな人が通ればよいと絕えず心に期待して、眼をキョロキョロさせて居る。この日西洋人三人入れられた、一番澤山入れてくれたのが二圓であつて、日向樣西川樣外の皆樣が寒さも、勞れも聊かもいとわずの活動振りを、お洒落にのみ腐心して終日長火鉢の番人で暮してる人形的婦人に見せてやりたかつた。世間知らずの私は、いくら可愛想な同胞の爲めの叫びとは云ひながら、初めのうちははづかしかつたが時を經るに隨つて何の感じもなくなつた、さうして社會的觀察と云ふことを現實に學び得た。

四時半に理容館樓上に引上げ金高を調べると、

四拾八圓十錢

今日の特別寄附は博品館内有志者から六圓六拾五錢集めて下さつたのと、芝三田四丁目の楠老人が一圓入れて呉れられたのと、昨夜西川さんがあづかつて來られた小石川氷川下町古谷夫人の壹圓とで、それも皆此中へ入れてあるのです。

それから化粧室に這入つて思ひ〳〵に塵だらけのかみや、顏をなほしたり、私は自分より年下の丹樣に、お白粉をつけて頂いた、その時は全く子供のやうな、氣分になつて嬉しかつた。自分はいつのまにこんなに

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

老ひたかと、おさない昔がなづかしくおもはれた。

やがて一同は美しくなつて席にもどる、西川様一人化粧室にとりことなつた、小口様からお茶が出る、續いて御馳走が運ばれた、それを頂いてお互ひに家路に向つた時は六時に近かつた。

鉛色の空には十日あまりの月影おぼろに光つてゐた、

（平澤脇子）

出席、樋口、平澤、尾竹、丹、井上、伊藤、日向、西川、塩原、

第五日目（二月七日）

私等お櫃隊の一行は豫定の通り三越呉服店の前に出陣した、朝來吹きすさぶ寒風にさらされて幾度か轉覆せんとするお櫃を支へながら、この困難と戰つて充分なる使命を果さんと一同決心の臍を固めて活動を始めた。

『一椀の飯を與へよ東北窮民のために』

といふ標榜を指しつゝ、何卒多少に係らずお願ひ致しますと往來の人の同情にすがる、何しろ身を切る許りの寒風に人の歩みも疾く懐から手を出すさへも大儀らしき人々に對しての袖乞、一方ならず骨が折れる、折しも盛裝の貴婦人五六人自働車を馳つて三越へ練込まれるのを見るやこれ逃がさじと車前に平伏して懇願した、フーンと輕侮の一瞥をあたへられてお姿は店内へ隠くれてしまつた。

手持無沙汰に引返せば年齢五十才位の身なりも質素な老婦人

このお寒いのに御苦勞様ですねと一圓紙幣を投入される、あまり有難いのでお名前はと尋ねるに

なあーに名なんぞは

と拒絶されたが、强て伺つて三田の水野賓枝さんといふことが分つた。つゞいて身なりも廉末な一車夫が通りかゝつて五十錢銀貨を投入された、名を聞かんとすれば急いで何れへか去つてしまつた、あゝ貧者の一燈ではない萬燈、前の貴婦人に對象して心底からの感謝が湧き起つた。

其内に又もやブーと勇ましい音立てゝ來た自働車さ

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

あゝこんなお身分の人にこそと、店内まで随行してひたすら同情を仰いだ、侍女が見兼てお歸りにとの御挨拶まあよかつたと引退いて待つて居ると、二等立の馬車一臺、車中の君はお年の頃六十位の御隱居、侍女を連れてのお買物前同様にお願ひした、これはまたお年にも似合はぬ情しらずのお方と見え、遂に一言の御挨拶もないので極りわるく退いた、傍観の店員や下足番が氣の毒がつて

　まあ火にでもおあたりなさいませ

と慰めて呉れた、お晝を代る〲しまつて居る間に、三越の店員から集めたとて銀貨銅貨の數々を幾度も持つて來て下され尚三階から五錢や十錢の銀貨を投與せられて有難く頂戴した。お向の三井銀行からも行員の中よりと幾度もお錢を下された篤志の方々に萬謝をささげる。先の自働車が歸りますよと背叩かれて急ぎ馳けつけ歎願した、車中の君は、馬鹿な女どもよと言はぬ計りの一瞥をもつて、自働車はプーー私等はこんな貴婦人に一言を呈する。

忘るゝ勿れ御身等が飽食暖衣の其料は、何れもこれら下等農民が粒々辛苦の賜ものによろなることを。又思へ今日の御身は他日この窮民に轉變せざるを保しがたき世なろ事を。

折しも來かゝる老紳士英國人か米國人か流暢なる日本語をもつて

　他の方へも出しましたから少しですが

と金貳圓を投入し脱帽して丁寧の挨拶、この紳士の態度には一同感服措く能はざるものがあつた。

　どうしても外國人は違ひますれ

と見込を附けて通行の西洋婦人を追かけて

　コンツリビユート、フオア、リリーフ、オフ、ザ、サフアラース、イン、ザ、ノース、イフ、ユー、プリーズ

とねがつて見たところが

　ズ、ネ、ケルザン、シユール、モーア、オズル　ツイ

と佛語の答でさつさと往つてしまはれ大失望御苦勞様と挨拶して通る人もあれば、こちらの方がもらいたい程だと捨鉢を云ふ人、恭しく一錢を渡す人、雜作もなく五十錢を投入する人、千差萬別の人心おかげで私も

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

大に社會研究が出來た。風を引いて演說も充分出來なかつたおわびにと非常な辛抱して出て來たのに生憎の寒い日一日の立ちつゞけで我慢も何も出來ず働きの鈍かつたのは皆樣に謝罪します、四時に引上げて勘定した計算が

三十八圓八十錢

此の日の出席者は塩原、樋口、平澤、高木、西川、井上、吉川の七人でした。（吉川たみ子）

第六日目（二月八日）

雪の夜

私位弱い〳〵ものはない。

私は今雪がコッコ〳〵とふつて居る、白山上で電車を下りて、例の道を例の通りトットットとかけながら、走りながら、息せき荒く家路についてゐる。頭に雪がつんでピショ〳〵解ける、肩かけを頭上にのせるとすぐ眞白になる、雪の重みで前へすべり落ちる、雪をふりおとしては又かぶる。通りかゝりの人は一人もない、家々は皆雨戸を下ろしてある。胸がどき〳〵する。早く歸つて、かやう〳〵で時を過ごしたと語つて落つくまでは、何としても早鐘はおさまらない。全體私は誰れの爲めにこんな不安な苦しい、いら〳〵する思に悶えるのだらう。あゝ私は矛盾の生活をして居る。いゝえ程度といふ事を知らないからだ、さう『毎日のことだから、どんな事があつても四時には歸る事にしなさい、でないと何時も留守々々では全く悲觀して了ふ』と無頓着な人だとばかり思つて居た、人から思いがけず、かう聞かされた時の、うれしさ悲しさと云つたらそれはなかつた。胸一杯にふさがつて了つた、私はこれから『どんな用件があつても振り切つて歸らう』と固く〳〵決心した。それでゐて何と云ふ意志が弱いのだらう。

今朝も上野公園の入口で立つた、東北饑饉の爲めに、Hさん、JさんとMさんとで。外の方々は休みだと思つて來られなかつた。

『雪がふる〳〵おもしろい〳〵』と云つて暫らくたゝ

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

かつて居た。『止めたらば』と云ふHさんの御雇人のやさしい御注意で、Hさんも『これしきの雪でへこたれては殘念だ』といつて居られたし、私どももちつともかまはぬ雪だるまになつても、とは思つたが、通りかゝる人もない、あつても電車に急ぐ、ステーションにかけ込む、とてもビラをさへ見てくれない、立寄つて寄附してくれやうがない、止めましやう〳〵で、みやこ座にかけこんで、看板と例のおはちと臺とをあづけた。

あのまゝ歸つて半日休息したら、どれ丈け喜ばれたか知れない、私もどんなにうれしかつたかしれない。

私は隨分身勝手である。人の歸りが豫定よりおくれておそいと、淋しい〳〵と云つて立つても居てもゐられない癖に、自分は出た序だから〳〵と云つては用を濟ませて歩く。全く惡い事だ、おまけに電車まで停電したりして。こんなに苦しいのもその罰だ。あゝこんな都の雪道を一人歩きするのさへ心細いのに東北北海道の積雪の中に餓えこじえて居る人はどんなだらう、それにしても見も知らぬ私が今、その見も知らぬ人の爲めに、こんな落つかない悶に苦しんで居るとは、彼地で思つて見てくれる人もあるまい。

Mさんの案内で或婦人會へ廻つて、東北の爲めに寄附して貰つて來た、東北の爲めと云つても私は私自身の身にかゝる負債の樣にも感じる。毎日々々連日の、私ども一同の此頃の活動、それは世馴れた、年のいつた人達の想像もつかぬ美くしい犧牲だとも思へた。

悲しい程つらい目にあふ事もあるが、若いものゝ胸にひそんで居る或ものは、限りなく美くしい〳〵ものだと思ふ。若い血潮にふれてもえたつて居る焔を、老たる人や冷やかなる人の曲つた眼で見られる爲めに、強い〳〵熱度も、寒風やみぞれや、しぐれや雪で冷やして行つて同じ仲間の人間に引ずられて行く。それが人生かも知れない。

私ほど弱い矛盾した人間はない、理想と感情と趣味とがたえず戰つて居る。十年あまり以前にも足尾の鑛毒に惱まされて居る人達に深い〳〵同情をもつて、救つて貰ふ樣に人々の心に訴へた事があつた。理想とし

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

ても是非しなければならぬ事だと思ひ、感情としても涙もろい自分にはたまらなく止むに止まれぬ樣に感じる。それで居て、私は、私の趣味性格としては恐ろしく外面的の活動と云ふ事を好まぬ、冷たい眼でみて居る人に却つて共鳴する事が多い。私は善事をする爲めの活動家は理想としては好きだが、趣味としてはどうしても靜かな詩的な創作家とか云ふものが好ましくてならない。自分もさうありたい。善事だと思つて一生懸命して居ながら趣味としては、山にでも這入つて了ひたい樣な獨善主義を欲する情がむら〳〵と起つて來て、理想に謀叛する、急ぎに急いでかけて居た私はこんな事を思つて居る間に曲り角を通つて了つて、一町先きのそばやの角まで行過ぎやうとした。こゝからはも一人の通つた足跡もついて居ない、五寸餘の積雪の上に十三夜の月が照つてきら〳〵と光つて美くしい。いやが上にも雪はコッコと降つて居る。

（二月八日夜十二時文子）

本日の收入三圓三十三錢
出席者　日向きむ、日向令孃、小口みち、西川文

第八日目（二月十日）

（第七日目、二月九日は雪の爲め活動を中止しました）

今日は平凡な日で記すべき程の印象も殘らないが、大雪後の事とて寒風が肌へを刺すやうであつた。場所は本郷三丁目で平澤福子樣と私とが遲れ馳せにかけつけたのは十一時半頃、現場には西川、日向、伊藤、井上、高木の諸女史が既に活動を開始せられて居つた。お晝は日向さんの御馳走で向ひのカフエで洋食を頂いた。午後に尾竹さんに尾崎さん西川さんのお子樣方も御見えになつた。例に依て同人の活動は實に目ざましい、大雪後の寒風も北海東北の大積雪中、着るに暖衣なく食らふに食なき同胞の上を思へば是しきの事何にかあらむと頗る熱心であつた。

相變らず喜捨して下さる方は上流よりも中乃至下層に多い、場所柄とて男女學生も大分入れて下すつたが、中に身には見るかげもない破れた洋服を纏ひたる一高苦學生が、囊中を探り喜捨して下すつた時は思はず涙を催しました、噫美しき心の人よ、暖衣飽食自働車

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

上に美妓を携へ冷やかに見下ろし行く紳士もあるにと、無量の感慨に打たれました。

四時に井上スミ子女史の御宅に引上げた、上り高は十九圓五十三錢内に特に井上様御あづかりの中井光次氏の三十錢も入りました。種々御馳走を頂き同女史より面白き思出の御話を伺うて歸途についたのは七時頃であつた。

(樋口稼)　(二月十日記)

第九日目 (二月十一日)

出席　井上、尾崎、高木、平澤、樋口、西川、日向

むら消の雪の江戸を半分見渡す九段坂の上は後の月夜の樣に人影が長く地にうつるほど長閑に温い冬の日がさしてゐる、今日の紀元節はわりに人出が少い、禮服の軍人が參々伍々ゆきちがふがおひつには入れないどうしても入れさせずにはおかないと遠征を試みて談判を開始する人もあれば將校の馬の口をとらねばかりに肉迫して遂に入れさせた人もある偕行社へチラシを配りに行つた文子さんの軍略が効を奏してほろよひで出て來る將校達が歸りにはすこし入れた、いろ／＼な種類の人が同じ情の心をもつてたちよつては入れて行つた、昨日も東北の事で、四圓寄附をしましたが此箱へもそれでは入れてゆきませう持合せは少しですが、などと云つたやさしい外國紳士もあつた、襟卷におとがひを深く埋めインバネスを着てぶら／＼ゆく五十格好の人に寄附を勸誘したら血走つた眼をあげて不信任案は否決されたのだ誰があんな國賊の爲に入れるものかと云つてあしばやにゆく、そんな事に關係はないのです、よくその紙を御らんなさい、といつたら振り返つて妙な顔をしたが又下をむいて行つた、向うから新夫婦らしい一組が來た、平澤さんが男の人の方にチラシを渡すと立どまつて讀んでゐるうちに女の方の人はくるり後戻りして小半丁ばかりもいつた。めをあげて連をさがした男はクレオパトラの御乘船の後につゝいたアントニオの船の樣になつてしまつた、どうもあゝいふ時は女の人に渡すものかもしれないと思つた、女といふものがお互に、その權威と責任を用簟笥の上へ置き忘れて來ない樣にしたいものだ。西川さんを尋ね

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

だ。西川さんを尋ねて來た平山寫眞師に、記念の撮影をして貰ふ、歸りは會員櫻井氏方へひきあげる事にして靖國神社の境内をぬける、伊藤朝子さんからゆく〴〵おひつを人にさしつけて寄附金を募集した事と、其おひつを抱えた人が如何いふ態であつたかは必ず書かなければならぬといふ命令だか注意だかわからないものがあつたから仰畏こみたしかに、途中寄附金募集をやりながら歩いた事と、さどやの大一？にとき色のなまこのてがら、やたら縞のコートを着た人がおひつを抱へてゐられた事を明記して置く、但しお名前だけは私の手ごころで省いておきます。櫻井さんの處でおひつの除蓋式を行ふ、金十六圓二十錢、この八十錢は櫻井氏姉妹と同家の寄附です、路傍へ出た方は。

伊藤朝子、西川文子、尾崎恒子、井上すみ子、高木富代子、平澤ふく子、岩崎愛子、鳥井あぐり。

此事では隨分外へ出ましたから明日からはお互に家の事や雜誌の事やしつかりとやりませう、左様なら、左様なら、振り返へると街頭で、政治家の様々と誰かいつたその立話をまだしてゐる方々が大分あつた。

九日間大に働いた吳れたおひつは末ながく櫻井氏方で保護して下さる事となつた。（あぐり）

炬燵　　座古愛子

飢ゑに位く我が同胞のありさまを
炬燵に讀むも心めたさや

餘寒　　同人

燈火を掻き立てながら老ひの目に
針持つ母や殘る寒さを

梅　　同人

鉢の木の梅も笑ひて病む身にも
春は來たりと告ぐるさま見ゆ

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

東北 北海道 救濟金募集決算報告

二月二日演説會の收支

收入

入場料　四十三圓六十三錢

當夜會場内寄附金　十五圓六十錢

支出

會場費及び雜費　二十三圓廿錢

差引三十六圓三錢

（但し演説會開會の準備費用十五圓は日向夫人の寄附）

二月三日路傍にての集金

收入

二十六圓六十七錢　（日比谷）

支出

無

（但し晝飯代は日向氏寄附、其他の雜費は會員各自寄附）

四日同

收入

二十九圓六錢五厘　（上野廣小路）

支出

無

（但し前同樣）

五日同

收入

三十四圓三十四錢　（水天宮）

支出

無

（但し同）

六日同

收入

四十八圓拾錢　（新橋）

支出

無

（但し同）

七日

收入

三十八圓八十錢　（三越前）

支出

無

（但し辨當其他自辨）

八日

收入

三圓三十三錢（雪の爲め中止）　（上野公園前）

支出

無

（但し中飯日向氏寄附、其他同）

九日

休み　雪降り

十日

收入

十九圓五十三錢　（本郷三丁目）

支出

無

（但し中飯日向氏、夕飯井上氏寄附）

十一日

收入

十六圓二十錢　（九段坂上）

支出

無

（但し中飯日向氏寄附）

○

外に本社へ直接寄送されし分如左

四圓八十錢　田口隆子、御澤ます子外數名

五十錢　松木きよ子

五圓　山下敬子

二圓　與謝野晶子

三圓　遠藤はつ子

一圓　岩波書店

支出

路傍用チラシ印刷追加分　六圓

差引

十圓三十錢

總計

收入　三百九十二圓五十六錢五厘

支出　二十九圓二十錢

差引　三百六十三圓五十六錢五厘

右日向代議士に托して衆議院内救濟會へ寄附仕り候也

以上

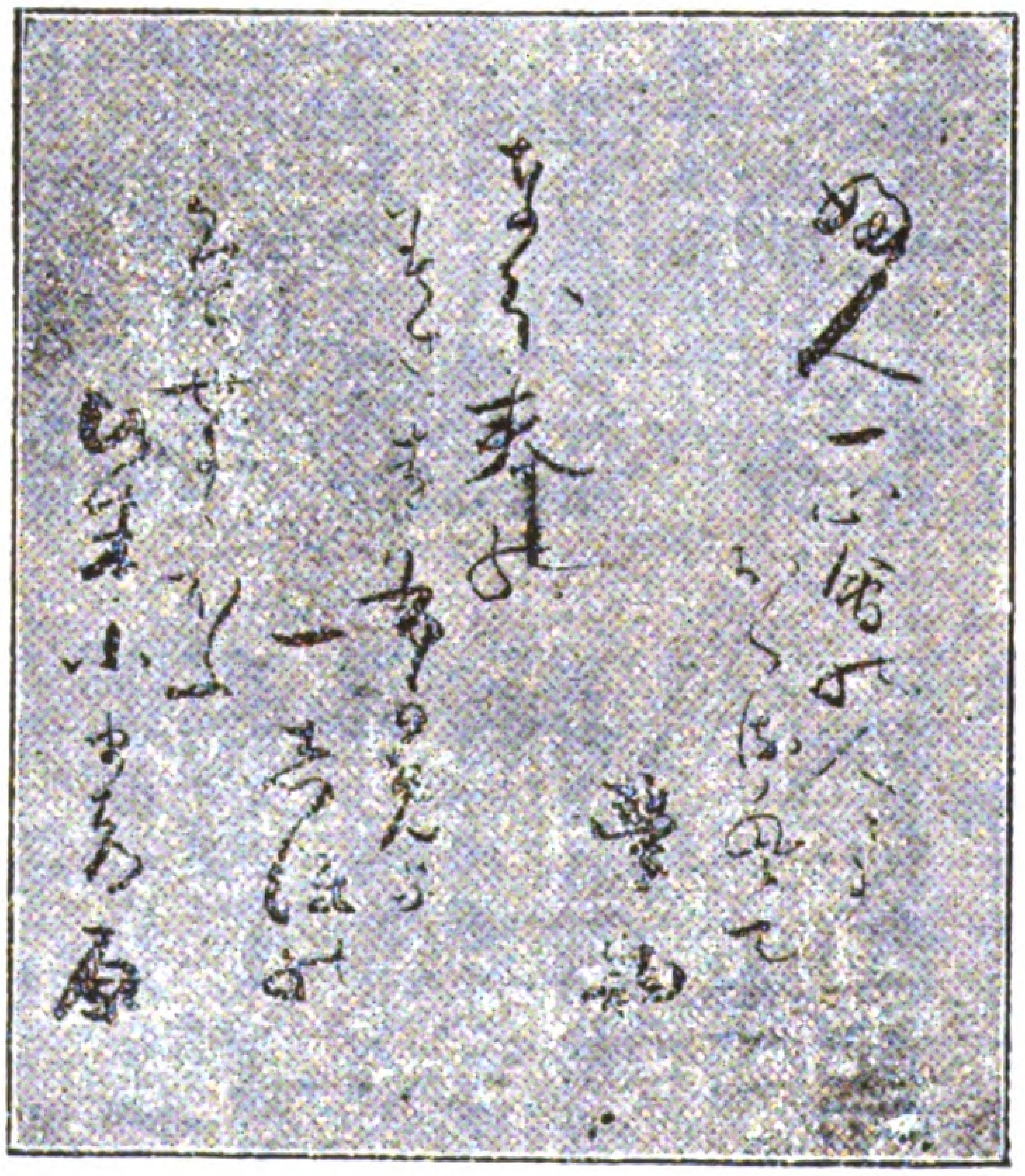
新眞婦人社同人

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

婦人一心會の働き

理容館主　遠藤はつ子

三十七八年の日露戰爭の時でした、私は何とかしてお國の爲めに盡したいと思ひましたが、それも夫に心配かけないで自分の手でしたい、然し私の手で出來る丈の僅かのものが何の足しになりましやう、何とかしてそれを資本にして澤山產み出す工夫をしたいものだと思つて、一心に考へました末、とう／＼寶壽の玉を戸毎にあづけておいて、紙屑を賣つた代とか、一寸髮を一度結つたと思つて餘した金とかを入れておいて貰うとよいと云ふ考案をいたしました。そして寶壽の玉の底をぬいて紙をはつて戸毎にあづけておいて二ケ月目に一度づつあけてあるき、十錢以下の處は又其まゝ内に入れて封をして來ました。一年間致しまして何でも總額二千圓ばかりもあつめました。會員の方には二十錢づつ出して頂いてそれを印刷物などの費用にして、集めた金錢はスッカリ海陸軍、赤十社、軍人遺族、義勇艦隊の五ケ所に納めました。其の時頂いた木杯は今も芝の金光敎會にあります、又此御色紙もその時本居豐頴先生から頂いたもので、これを印刷して寄附者全體にお分けいたしました。



私は當時の自分の經驗からして此度貴女方のお骨折に對して非常に御同情申上ます。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

人種改善の責任者

露子

一

人類が數千年間、柔順な猫をのみ可愛がつて來たので、自然に荒々しい猫が排斥されて、ダン〳〵柔順な猫のみ生存を許さるゝこととなつて、遂に私共が今日の如き性質の猫を見得るに至つたものである。

豚にしてもソウで、其の昔、豚がまだ人間の手で飼養さるゝに至らざりし以前に於ては、豚も足の長い瘠せた動物であつた。所が人間が其の肉の美味なることを知り、之れを飼養する樣になつてからは、成るべく肥つた足の短かいのを珍重し、サウ云ふ豚の殖える樣に殖える樣にと苦心した。永い間の其の苦心で遂に私共が今日の樣な豚を見得るに至つたものである。

小麥などでも、其の種子を、撰擇のしやうによつて永い間には或は濕地に適するものたらしめ得べく、又或は乾燥地に適するものたらしめ得べしとのことである。

コンナ風に、注意をすれば、人間も改善することの出來るものであらうか。

二

同じ林檎の木にも、善い果實を結ぶものと、惡い果實を結ぶものとのある樣に、又同じ犬にも、敏捷な犬の生れる筋と、ソウでない犬の生れる筋とある樣に、人間にも筋がある樣である。ガルトン氏の調査によると、千六百六十年より千八百六十五年に至る間に出た英國の有名な裁判官の家系には、其の先祖の中には百分の二十六の割合にて天才現はれ、其の子孫の中には

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

百分の三十六の割合にて天才が現はれて居る。又有名なる科學者六十五人の家系には、其の先祖の中に百分の二十六の割合にて天才現はれ、其の子孫の中には百分の六十の割合にて天才が現はれて居る。普通人の家系からは、コンナ割合にて天才は出て居らぬ。

極端な例を示すと、マックス・ジユクは千七百二十年に生れた人であるが、此の人の子孫千二百人を調べて見ると、中三百人は貧民院の厄介になり、三百人は小供の時に死し、四百人は病人、四百人は身體虚弱、五十人は淫賣婦、七人は殺人者、六十人は常習犯、而して殘りの百三十人は犯罪者となつて居る。之れを惡い方の極とすれば、ジョナサン・エドワアズの家系は善い方の極である。彼は千七百〇三年に生れた人であるが、彼の子孫千三百九十四人を調べて見るに、内二百九十五人は大學を卒業し、十二人は大學又は高等學校の校長となり。六十五人は大學又は高等學校の敎授となり、六十人は醫者となり、百人は僧侶及び音樂家となり、七十五人は海陸軍人となり、六十人は著述家となり、百人は法律家となり、三十人は判事となり八十人は官吏となり、一人は副大統領となり、又三人は元老院議員となりて、其の血統から一人の犯罪者も出て居らぬ。

斯く人間の中にも善い筋、惡い筋があるのであるから、注意のしやうによつて、人種の改善が計れなければならぬワケである。

三

さて人種改善は計れるものであるとして見ると、次に起るのはドウしたら改善することが出來るか、其の改善の責任者は誰れであるかと云ふことである。

婦人の位置が男子と同等若しくばソレ以上であつた時代に於ては勿論、男子に壓制さるゝ樣になつてからでも、戀に於ては婦人は消極的で、男子は積極的である所から、自然婦人に撰擇權があつた。今や又、婦人は男子の壓制より脫せんとし、其の智識も進歩しつゝある次第であるから、將來は婦人の撰擇權が益々增大

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

することであらう。而して婦人の撰擇力増すと共に、婦人がドンナ男子を好むかゝ人種改善の上にいよく關係が深いことになつて來る、で私は人種改善の責任者は婦人であると云ひたい、婦人の責任や重しと云ふべきである。此の重大なる責任を負へる婦人の自覺が重大事であることは、元より云ふまでもない。

結婚と健康診察（二）

前號に於ては、此の問題に就て高田畊安先生と、羽太ドクトルとの御說を紹介したが、本號では醫學博士永井潛先生と、吉岡彌生先生との御說を紹介します。

三

醫學博士　永井　潛

一口に云へば、生物學で研究した遺傳の法則を人間に應用して、惡い人間の種を絶滅して立派な人間を拵へて行かうと云ふのが、人種改善學の目的とする所である。併し何にしろまだ人間に於ける遺傳の關係を調べる材料を蒐集して居る樣な次第で、米の有名なる人種改善學者ダベンポートは、各學校の教師に相當の手當を與へて、生徒の家庭を訪問して遺傳のことを調べさすとよいと云うて居る。日本では私共十人ばかりで遺傳研究會を拵へて居るが、まだ日本の材料を集めることに着手すると云ふ所まで行て居ない、其の樣なワケであるから、此の學問から得た智識を實行すると云ふことには、漸やく左の三點で着手しかけて居る丈けである。

第一は性慾教育で、之れを施すのが善いことであると云ふことには、既に議論が一定して居るのであるが其の教育の方法と、幾歲位から其の教育を始めてよいかと云ふ時期に就てとは議論がまだ一定して居らぬ。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

併し既に中學以上の學生には性欲敎育を施して居る所がある。第二は去勢のことで、常習犯の者とか、精神病者とか、其他其の者の遺傳を絶滅するの要ある者に對し、誘卵管とか、誘精管とかを切ることの實行である。之れは容易に出來ることであつて而かも其の効果や頗ぶる大なるものである。米國のインデヤナや、カリフォルニヤなどでは法律で定めて、既に之れを實行して居る。第三は結婚前に互に醫師をして其の健康を診斷せしむることで、兩方から信用すべき醫者を出して、互に診斷せしむることは大變に結構なことと思ふ米國では之れを法律で定めて實行しやうとして居る所もあるが、コウ云ふことは法律でやらすと云ふよりは智識を普及して自然に行はれる樣にする方が面白いと思ふ。或一人の血統を溯る。一代前は二人だが、二代前は二の二乘で四人となる、ダン／＼溯りて百代も前になると一人の先祖が大變な人數になる。之れと同じ勘定で、或一人の血液が將來澤山の人の血液の中へ這入て行くのである。之れを思ふと結婚に際し、互に醫師をして健康診斷せしむることの必要なることがいよいよ深く感せらるる。

四

至誠病院長　吉岡彌生

よく結婚しない前に子宮病を病ふ事があるかと問ふ人があるが、先天性に惡い人と後天性に惡くなる事とあるから、結婚前と雖も子宮病はある、かゝる場合に婦人の品性を疑ふと云ふのは無理である。男女の關係がないからとて病氣になる事はまゝある、だから結婚前の健康診斷と云ふ事は是非必要な事である。

先天性に惡いのは、子宮の發育不全、一名小兒子宮と云つて子宮の發育が惡いので一寸したものは治るが、極度のは見込がない、妊娠せぬのである。子宮の位置の異なつて居るのや、無月經と云ふのや、子宮口の狹過ぎるのや、膣の異狀を呈して居るのもあれば、二つ膣があるとか、處女膜でおほはれて居るとかは、皆先天的のものであるが、後天性のものには、小供の時でも母親の痳毒をうけ、痳毒性の內膜炎を來すとか、月

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

經時の不攝生、月經時の寒冒又は熱病などで犯される事もある。子宮結核なども、結婚の有無、男女の關係に關せず起るのであるが、先天性のもので無月經と極く發育不全の人は治らぬが、其他のは直す事が出來る後天性のものでは結核性のものの外は皆治るのである尤も子宮結核は單獨に出るものではない。肺か何處かに結核のある人に初めて出るので、これは何とも仕方がない。

右の樣な次第であるから、是非結婚前に診察して治療の出來るものは治療し、出來ぬものは獨身で居る方が社會の爲めにも自分の爲めにもなるのである。

こんな事がまゝあります、結婚後一週間たつかたゝぬ中に腟のない人や、子宮も腟も何んにもない人があつて、離別の悲しみに逢ふ事がありますが、こんな人は結婚してから双方の不幸を來たすよりは、前に診て貰ふ方がよい、又親からうつされた痳病をもつていつて、夫にうつし結婚後に大問題を起す事がある、發育不完全も手術をすれば一定の程度までは發育する。

又結核等のある人も結婚すると姙娠する。病氣がすすむ、腹膜炎になるとか、子供に乳をやる、一年未滿の中に結核脳膜炎で死ぬと云ふ樣な事になり、出產を折角喜んでも親も子も死に、夫に迄傳染さす事にもなるから、結核の人は德義上結婚しないと云ふ事にしなくてはならぬ。

學生によくある肋膜炎なども極端に云ふと結核性のものと考へねばならぬ、腹膜なども良經過を經れば治るが、婚期前後によく起るものであるから、充分治してからでなくては結婚せぬがよい。充分治す爲めには婚期をおくらしても養生しなくてはならぬ。でないと夫にもうつす樣な事になり自個の爲めにも危險である。

腎臓炎なども再發しやすい病氣で、殊に姙娠するとさもない人でさへ腎臓炎を起しやすいから充分治療してからでなくてはならぬ、それが醫師から見ると危くて〳〵ならぬ樣な人が、素人では分らぬ爲めに結婚する。腎臓炎などは尿を診て貰へばよいのである、何でもない事であるから、是非さう云ふ事にして欲しいものである。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

簡易哲學

A T 女

戀ほど高價なものはない、貧富に係はらず自分の財產の全部を投じて買つてもお釣りが來ない。それでゐてながもちがしない。

○心あうた同士の沈默ほど意味の深い心ゆくものはない、氣の知れぬ人の沈默ほど癪にさわるものはない。

○神に愛される者は幸福である、人に愛されるものは幸福ではない、嘗つて愛されたものは不幸である。

○自分を愛する人に許しても自分が戀する人に嫁いでも、持ち得る幸福の分量は結局同じ事である。

○人の世の所謂戀は形式的な御馳走の樣なものである、よろこんでたべると味がなくて、品惡く見られる、辭退すると何時までもうまさうでその上ほめられる。

○感情は頭腦を馬鹿にした、ハートの謀叛だ。

○戀と憐憫は從兄弟どしで仲がよくない、憐憫がよく戀のみぶりをしたり、聲色をつかつたりして人をあやまらせるので戀は到る處で辨解をしなければならぬ、その爲に憐憫が表から入つて來ると戀は裏から出て行つてしまふ。

○謙遜な戀がめをつけた者を傲慢な憐憫が自分に從がはせる事がよくあるので憐憫が發見したものを戀が集つてしまふ事もたまにはある。

○畫家と詩人と女の戀人にはなるな。

○むら雲は月より上にあるのではない。

○わがまゝよ汝の名は男子なり。

○自我と戀とは兩頭の蛇の樣なものだ、どつちへも其まゝゆけるが兩方へゆけない、どつちかをしたがはせなければ。

○社會へ出て女權の爲に戰ふ男は氣をつければならぬ、せめて自分の家庭では休む事があるから。

○汝の仇を慈めとは神の、やさしい注文だからよろこんで早く應じなければならぬ、もし反對に汝の愛するものを憎まればならぬと命じられたら私たちはどれ程辛いだらう。

○九分通り衣裳からなりたつてゐる日本の美人畫の樣な生活はもう出來ない、裸そのものが聖く麗はしい希臘の彫刻の樣なものでなければ

○人生座には近頃高尚な而も油斷のならぬ競技が始まつてゐる、それは種々なかたちで來る相手がツッと一段上つては、他を憐れまうとする、憐まれる者が負けなのである。

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

カシタンカ（第七）

チエホフ作

不安の夜（續き）

『ガアー』と、イワン・イワノキチは叫んだ。ガア！ガア！ガア！』
戸が開いて主人は又蠟燭を持つて入つて來た。鵝鳥は前と同じやうな恰好をして、嘴を開ひて、翼がガックリと垂れたまゝ眼も開けない。
『イワン・イワンキチー』主人は鵝鳥を呼んだ。
鵝鳥は身動きもしない、主人は彼の前の床に坐つて、默つて見てゐたが、又斯う云つた。
『イワン・イワノキチ、奈何したんだよ？　貴樣は死ぬのか？　えゝ、これよ？　うむ、さうだ、さうだ、今俺は思ひ出した！』
と、主人は叫んで、手で自分の頭を抱えた。
『それに違ひない、今日貴樣は馬に踏まれた！　あゝさうだ、困つたことになつたなあ！』
小母さんは主人が何と云つてるのか解らなかつたが、然し主人の顏色で察しると、何か非常に恐しいことを主人も待つかのやうな風であつた。さうして彼は顏を暗い窓の方に伸して唸つた。其處に誰か他のものが立つて見てゐるやうに思はれたので。
『鵝鳥は死ぬよ小母さん！』と、主人は手を振つて云つた。『死ぬんだ、死ぬんだ！　お前達の室に死神が來た。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

はて、奈何したもんだらう？』

主人は眞青になつて溜息を吐き、頭を振つて、如何にも心配さうに寢室に歸つた。小母さんもこの暗い室に殘されるのがもう恐しくて堪らず、主人の後について、矢張其寢室に入つた。主人は寢臺の上に坐つて、幾度か同じことを繰返してゐた。

『あゝ困つた、奈何したらいゝだらう！』

小母さんは主人の足下を歩きながら、自分は何で這麼に寂しく、苦しいのだらう。又何で皆が那麼に心配さうなのだらうかと、彼はそれが解らないので主人の一擧一動をぢつと見入つて、それらのことを解らうと勉めてゐたすると又、あの平常は滅多に其小蒲團から立つたことのないフェオドル・テモフェーキチもいつか矢張主人の寢室に入つて來て、其足に身を擦り付けた、さうして何か重苦しい考を拂ひたいとでも云ふやうに、其頭を振つたり、又寢臺の下を疑はしさうに覗いたりしてゐた。

主人は手洗鉢の中から皿に水を掬つて、又鵞鳥の許へ入つて行つた。

『さあ、飲みな、イワン・イワノキチー』と主人は優しく云つて、鵞鳥の前に水の皿を置く。『さあ飲みな、可哀さうに、可哀さうに。』

だが、鵞鳥のイワン・イワノキチは動かない、眼も開けない。主人は彼の頭を皿のところに持つていつて、嘴を皿に附けて遣つたが、もう鵞鳥は飲みもせず、翼を落して突張つてダラリと開げたまゝ、首も皿の上に置かれたまゝでゐる。

『あゝもう駄目だ！』と、主人は溜息を吐く。『もう駄目だ、イワン・イワノキチはもう無くなつたんだ！』

鵞鳥の頬には、よく雨の日に窓の硝子に垂れてゐるやうな鈍い光る露が垂れてゐた。小母さんも、フェオドル・テ

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

モフェキチも、それは何だか譯が解らなかつたが主人に身を擦り寄せて鵝鳥を怖々と見てゐた。

『イワン・イワノキチ、あゝ可哀さうな奴！』と、主人は悲しさうな溜息を續けて云つた。『あゝ、這麼になるとは知らず、春にでもなつたら、避暑地に連れて行つて、なあ、貴様と一所に青い草の上を散歩しやうと思つてゐたのだ、可哀さうな貴様も動物だ、だがお前は俺のいゝ友達だつたのだ、あゝ然しもう今お前は無くなつて了つた！　もう今となつちや又お前の其價値を奈何して、また見られるだらう』

小母さんは自分にも何か這麼やうなことが來るやうに思はれた、何だか自分は譯が解らないで眼を閉ぢる。足を踏張る、齒を剝出す、さうして人が皆驚いて自分を見る、なんぞと。さう云ふ考は獨小母さんのみならず、猫のフェオドル・テモフェーキチにも頭に浮んだと見える。で、是迄彼はいつにも這麼に不愉快に、這麼に暗く引入れられるやうな氣分になつたことはないやうである。

夜は明けやうとして、室の中には、前に小母さんに見えたやうな變な影は見えなかつた。夜がもうすつかり明けはなれた時、邸番の男は入つて來て、鵝鳥の足を捉つて出て行つたが、間もなく老婆さんが又入つて來て、餌の木鉢を持つて行つた。

小母さんは客間に入つて、戸棚の蔭をまづ覗いた、所が、幸に主人は彼の隱して置いた鷄の足を食べなかつた其足はすつかり舊のまゝで塵と蜘蛛の巣との中にあつた。だが、小母さんは奈何云ふものか悲しくて、寂しくて泣きたいやうであつた。で、彼は鷄の足の臭をも嗅がず、長椅子の下に行つて、其處へ坐つて、細い聲で靜に啼き出した。

『くうん、くうん、くうん……………』（未完）

瀬沼夏葉譯

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

婦人論反對說に答ふ（二）

（オリブ・シュライネル女史の『婦人と勞働』紹介の八）

高野重三

第三、婦人の腦力問題

論者ありて曰く、君等の婦人なり人類の將來なりに對する希望が、凡て夢だの、空想だのなりし場合にはどうする。成程婦人がたゞ自分の生殖器にばかり依賴すると云ふことは宜しくないが、併し過去に於ては婦人はたゞ手足を働かせば足る單純な業にのみ服して、ソレで濟んだのであるが、將來に於ては手足の業は極めて少なくなつて了ひ、するとせば精神的な廣く復雜な仕事に就事せねばならぬ。若し婦人の腦力が左樣な働きに堪ゆることが出來ぬとせば、君等の希望は何んにもならぬぢやないか。

私共は瑞西の山間を旅行する時に、屢々其の邊の婦人が薪だの、肥料だのを脊負うて山又山を越ゆるのを見ることであるが、私は斯かる時に、何時も此等婦人の勞働によりて山間の居住者の如何に其の生活を助けられつゝあるかを思ふと共に、此等婦人の顏に多年の苦勞によりて出來し澤山の皺あるを見て、一種の神々しき感に打たれ、どうしても此等の婦人に對して尊敬の念を拂はずには居られない。けれども今後凡ての働きが精神的になつた場合にも、婦人が過去に於て手足で人類の爲めに盡せし如く、其の精神を人類の爲めに働かすことが出來るや否や、若しソレが出來ないとすれば、今日婦人の問題に對する努力は無益に了るワケではあるまいか。

此の疑問に對して私は斯く答へたい。過去に於て婦人の働きがたゞ手足の働きのみであつたと思ふは間違つた觀察である。過去に於ても婦人は非常に其の頭の

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

力をも働かしたものである。例へば中世時代に於て、一國の城主の奥方は、其の夫たる城主が日夜狩だの、戰爭だのに忙殺されて、留守勝ちな其の間、其の城を守護するに少なからず其の腦力を費したものである。今日も銀行、會社、商店等の事務員等が、夫れ〴〵其の事務の爲めに費やして居る腦力よりも、寧ろ彼等の夫人達が其の留守宅に於て餘計の思索力、想像力、前知力若しくば、記憶力を費して居るのである。學問だの、藝術だのに對しては、婦人は過去に於て殆んど其の力を費すことを禁じられて居たにも係はらず、屢々夫等の方面に於ても盛名を擧げた婦人もあるのである又政治上の歴史を見るに各國至る所に女王があつて、國を男子同樣若しくばヨリ以上賢明に治めたものであることが知れる。而かも其の女王たるや孰れも偶然に王家に生れた爲めに女王となつたもので、別に他の婦人と異なる所はなかつたのである。西班牙の女王イサベラ、英國の女王エリサベス、及び露西亞の女王カザリンの如き、孰れも男子も及ばぬ程、政治上の働きに成功したものである。更に又今日高等敎育を施す大學に於て婦人は非常な成功を爲し、其の最高の名譽を掌握しつゝある婦人さへ少なからずあるのである。

而して私共は個々別々の例を擧げて、婦人は男子と同樣に精神の働きも出來ると主張するばかりでなく、婦人自からの腦力に先天的に以上の如き各方面に伸び得るの力のあることを信じて疑はぬのである。或時或者が路傍から或鳥の卵を拾て來て、ソレを我家の鷄に孵化せしめ、雛になつてから逃げない樣に足に紐をつけて置いた。スルト近所のものが其の周圍に集て來て此の鳥は水鳥であらうと云ふもあれば、雁であらうと云ふもあり、鵝鳥であらうと云ふもあれば、鸚鵡であらうと云ふもあつた。又或者は其の羽の模樣から察して、之れは何んでも青空高く飛ぶ鳥に相違ないと斷定した。スルト夫れを笑て、君は此の鳥がソンナに高く飛ぶのを見たことのない癖に、ドウしてソンナことを云ふかと詰る者があつた。此の時に小鳥は戀しさうにして切りに青空を眺めて羽撃をして居た、夫れは其の

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

筈此の小鳥は鷲の雛であつたのである。恰かも此の鷲の雛が遂には青空高く飛び得るを信ずると同様に、私共は婦人が過去に於て手足の働きに成功した如く、將來精神の働きにも成功することを信じて疑はぬのである。今は最早彼是批難者に向つて辯明す可きの時にあらず、只だ自ら信ずる所に向つて奮進するの一途あるのみである。

第四、女らしくなくなるとの非難

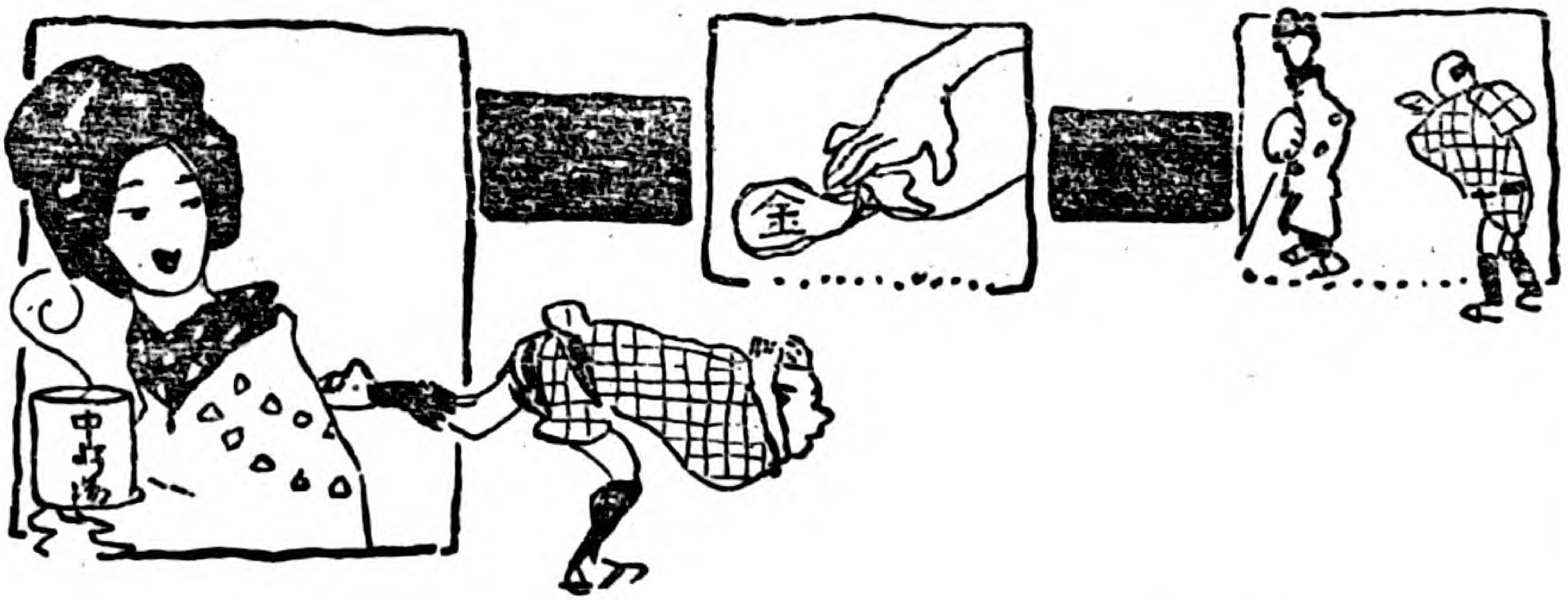
論者又曰く、假りに婦人が手足のみならず、精神の働きにも成功するとしても、若し其の働きを爲すことが、婦人をして其の特有の情愛とか、愛嬌とか、若しくば男子を引きつける力とかを失はしむるの恐れがあるとすれば、どうするか、婦人の智惠が廣くなつた爲めに、男子に嫌はれる樣にならばどうする。其の爲めに人類が遂に絶えるの恐れはなきか。若し實際にソウ云ふことが起つたとせば、婦人の墮落だの、寄生的生活だのに比して、其の弊害更に甚大ではなからうか。

私は此の疑問に答へて斯く云ひたい。私共婦人より云へば若し斯かる杞憂が實際に少しでもあるとせば、婦人自身の爲め、又人類の爲めに、婦人が人類の爲めの勞働に就事することを速かに中止せねばならぬと思ふけれども、夫れは實際に有り得べしとは想像することが出來ぬ。例へば下は彼の(A)アミバーが互に相牽引することより、鳥と鳥とが互に相慕ふこと、ダン／＼上て、人類の男女が相慕ふに至るまで（同じ人類の中では、野蠻人より、高尚な文明人に至るまで）戀愛なきはないのである。其の形に上下色々ありと雖も、生物全體を通じて、男性、女性相慕ふの事實ないものはないのである。殊に人類にありてはソウで戀愛は實に人類社會を組織せる經緯の糸とも云ふべきものであるされば世の中が如何に變化するとも、男女間の情愛が薄らごうとは、想像だにすることが出來ないのである昔婦人が手や足で以て一日に僅か一ヤードしかの糸を紡ぎ、若しくば織ることが出來ざりしに反し今日は機械を使うて一日に何十丈の織物を織つて居るからとて

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

男女の情合が薄らぐとは云へないではないか。昔、婦人が岡や山の傍で草根木皮を集めて藥を造りて醫療を爲した如くに、今日の婦人の或者が醫者となつて今日の進みたる形式によりて、小供等を醫療したからと て、ソレで今日、其の婦人が男子から嫌はれるとは思へぬ、昔は婦人がツマラヌ瓶に誠に幼稚な繪をかいた其の時には男子に愛せられたが、今日は婦人は文明式の繪だの、圖案だのを書くから、ソレで男子に嫌はれるとは思へぬ。昔、婦人が舂をひいたり、床を雜巾がけしたりした時には被愛れたが、今日は母たり妻たる婦人が其の家族を支へる爲めに他人の法律顧問となつたことが、反て男子に嫌はれる原因になると云ふことは想像だにすることの出來ぬことではないか。(B)財產ある婦人や、金儲けの手段を知つて居る婦人が其の財產あると云ふこと、或は金儲の手段を知て居ると云ふことの爲めに、男子に嫌はれると云ふことは、思ひも寄らぬことである。實際如何なる時代、如何なる社會の狀態に於ても、財產ある婦人を男子は悅こんで妻として來て居るではないか、一ヶ年に僅かに三十磅の收入しかない媬母だの、炊事女だのよりも、一ヶ年一千磅の收入ある女醫や女法律家の方が餘程多くの男子に被愛れて居るではないか。(C)婦人が智力の働きを爲す結果として、自由の狀態に居る場合に、男子が之れを嫌うたと云ふことは凡ての歷史と經驗とが之れを否定して居るのである、亞米利加の印度人が戰爭で捕虜として來た數名の女を妻として居たが、彼等よりも一夫一婦の制度を嚴守して居た白耳曼民族の方が妻を愛し尊重したではないか。土耳古のパシャは數百人の妾を持て居るが、其の妾に對するパシャの心持よりも寧ろ今日の歐羅巴人の男子が一人の比較的に自由な婦人に對する愛情の方が深いでないか、言葉をかへて云へば、男子は婦人が自由の境遇に居れば居る程之れを尊重して來て居るではないか。(D)昔も今も野蠻の國に行けば男子は婦人を捕へると先づ之れを汚して棒で撲つて連れ歸りて其の家内或は其の妾とするのである。今日の文明人は婦人に對して其の樣な荒つぽいことを

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA



婦人一代の道中に

胡麻の蠅の如く五月蠅く附き纏ふ婦人病少女、處女、母、姑、媼の各時代を通じて隙さへあらば飛び込んで思ふ存分苦しめやうと待構へる婦人病眼を皿にして隙を窺へど

婦人良藥

「召す」御婦人は

身體常に壯健に如何にしつこき婦人病も寸分犯す隙は無くよしや不幸にして犯されたとて中將湯の效果にて健康忽ち回復

婦人一代いつも無事

中將湯は子宮血の道より起る左の諸症を治す

●子宮病 ●血の道
●婦人神經 ●氣ふさぎ
●逆上頭痛 ●癇高ぶり
●夜眠れず ●内膜炎
●膣加答兒 ●こしけ
●下腹痛み ●足腰冷込
●產前產後 ●つはり
●難產流產 ●月經痛み
●月經滯り ●血ぶとり

定價

四日分	三拾五錢
一週間分	七拾錢
二週間分	壹圓拾錢
三週間分	壹圓六拾錢
五週間分	貳圓五拾錢
十週間分	四圓五拾錢
卅週間分	八圓五拾錢

本舖

東京市日本橋通四丁目
津村順天堂本店
振替口座六〇八番

大阪市堺筋大寶寺町
津村順天堂支店
振替口座四五六番

唯一の婦人投書雜誌

女子文壇

第十卷第三號　一册十五錢　郵税一錢五厘　前金一圓七十四錢

本欄

◎一葉女史の作品と日記との交渉……水野葉舟

[redacted]人生の姿、生活……小川未明

貧弱な文藝……長谷川天溪

しほらしい女……德田秋江

◎自由慈愛と結婚……宮田修

▲後街夜歌……吉井公平

▲昌子氏の源氏を評す……日向きむ子

▲アッシリヤ王の話……宇野浩一

◎危機一髪……森田草平

◎現代男女の氣の附かぬ事

安部磯雄、茅原華山、宮田修、近藤秋江、阿部次郎、秋田雨雀、加能作次郎、生田蝶介、本間久雄、河井醉茗、前田不二三、森田草平、日向きむ子、溝口すみ子、大倉くみ子

投書欄

◎小説欄　◎手紙欄　◎散文欄　◎短文欄　◎和歌欄　◎詩欄　◎俳句欄

▲轉地先より……島田しかの

▲大阪の町より……櫻路江波

▲落日……月岡波路

▲その夜……林まつゑ

▲夜と人魚……橘まゆみ

▲山脈の雪……夕山もみぢ

▲桃割の影……村瀬やよひ

▲みつくち……加藤きぬ枝

▲赤い笛青い笛……夏草女

▲葡萄のつる……三堂地信子

▲小百百

▲月路たへ花

▲潮路君代

▲淑子……もみぢ子

發行所　東京丸ノ內　婦人文藝社

電話本局三二九　各地到處の書店にあり

世界之日本

一部郵税共十一錢
毎月一回一日發行

三月號

半ヶ年六十錢
一ヶ年一圓廿錢

▲餘は矛を逆まにして國民を責む……立憲青年黨幹事 長橋重兵衛
▲犬養毅氏と原敬氏……菊池武德
▲世界の大勢……記者
▲山本伯にコンミッションは公然の公然也……文學博士 三宅雪嶺
▲政變當時脫走記（十八頁に渉る長篇）……長橋生
▲時勢の急轉直下に着眼すべし……社説
▲悉く舊劇の役者は葬るべし……伯爵 大隈重信
▲來るべき内閣と原敬……代議士 尾崎行雄
▲稲門の御歴々——副島博士——有賀博士——浮田博士
▲時局に對する我黨の大奮闘……立憲青年黨幹事長 橋本徹馬
▲江戸趣味鍋燒うどん……余里由記
▲長詩……長橋大河
▲立憲青年黨の時代來る……早大教授 永井柳太郎
▲帝都青年大會の記……村島歸之
▲小野小町論……日向きむ
▲貧賤に處するの道……社長 橋本徹馬

發行所 東京市神田區仲猿樂町十七 世界之日本社 電話本局五二一四 振替東京二六八六

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

內容見本進呈

僅に一ヶ年で佛教の大系が學び得られる

佛教講義錄

▲佛教研究法　東洋大學教授 日蓮大學教授　島地大等

▲佛教概論　加藤咄堂

▲印度の佛教　帝國大學講師 ドクトル　荻原雲來

▲支那の佛教　東洋大學教授 豐山大學教授　境野黃洋

▲日本の佛教　東洋大學教授 豐山大學教授　境野黃洋

▲歐米の佛教　宗教大學教授 ドクトル　渡邊渡旭

▲佛典の解說　帝國大學講師 文學士　常盤大定

▲禪學要義　加藤咄堂

▲法華經講義　東洋大學教授 日蓮大學教授　島地大等

▲觀音の研究　東洋大學講師　釋清潭

▲佛教美術談　帝國大學講師 文學士　中川忠順

▲太子御像解說　故平子鐸嶺

▲宗教學綱要　眞言大學教授 文學士　融道玄

▲佛教綱要　眞宗勸學　故島地默雷

▲基督教綱要　慶應大學教授 日本大學教授　廣井辰太郎

▲神道綱要　日本弘道會講師　足立栗園

購讀料

一ヶ月分（一冊）　金六十錢
三ヶ月分（三冊）　金一圓五十錢
六ヶ月分（六冊）　金三圓
一ヶ年分（十二冊）　金五圓五十錢
束修金五十錢

僅に五圓五十錢で佛教全書が整へられる

三月十五日第一號發行　當日までの購讀申込者は　束修不要

發行所　東京小石川區原町六　振替東京一五六八六　電話番町二六〇八　丙午出版社

滿一ヶ年完結

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

京都帝國大學文科大學長

文學博士　松本文三郎先生三大名著

佛典の研究

松本博士は佛典の本文批評に於て實に日本學界のオーソリチー也多年その蘊蓄を傾けて研究せられたる佛典已に幾十種加ふるに輓近燉煌その他に於て發掘せられたる佛典の研究は正に先人未到の新説なりとす佛典の眞僞を如何に辨別し經論の精神を如何に會得すべきかに心を勞する人まづ此書を一讀せざるべからず

菊判箱入
定價九拾錢
郵税八錢

增補 宗教と哲學

本書全篇十有四章まづ筆を「釋尊は何を説きしか」に起し「宗教と道德」「研究と信仰」等次第を逐うて遂に健全なる宗教の基礎は哲學的論據に在るとを説明し延いて老莊程子の支那哲學に論及す惟ふに病弱なる現代の思想界は此書によりて元氣の回復を求め得む乎

菊判箱入
定價七拾錢
郵税八錢

彌勒淨土論

彌勒淨土と阿彌陀淨土とは實に佛教の淨土思想を代表しつへき二大信仰にして又實に二大勢力たりしなり然るに其の半面は阿彌陀淨土の闡明によりて光輝を放てるあるにも拘らず他の半面は彌勒淨土の埋沒によりて今尚ほ暗黑に歸せりこれ豈佛教史上の一大缺點にして又實に佛教界の一大恨事ならずや松本博士こゝに見るありてその專攻する學科の立脚地より彌勒淨土の由來淵源を詳論し茲に佛教の淨土思想研究は完璧を成せり今にして何人か又此の新研究を味はずして恣に佛教の淨土思想を談ぜんとするものぞ

菊判箱入
定價一圓
郵税八錢

東京小石川區原町
貯東京一五六八六
丙午出版社

東京小石川原町
貯東京一三五三
鷄聲堂

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

新時代の家庭に提供すべく

小此木武子先生新著

新家庭講話

總クロース金文字入
三百頁の大册子

正價金八拾錢
郵稅六錢
市內四錢

著者は內地は言ふ迄もなく、歐米各國を歷遊し、各專門學校に入りて家政學料理法を初め、婦人の心得べき事柄は總べて研究せられその蘊奥を究めて歸朝せられたり。その豐富なる知識、多大の研讃を一册子に集めたるものは卽ち本書也。說くところ深切叮嚀努めて空論を避け實用を重んずる事至れり盡せり。婦人は勿論、苟しくも家庭を重んずるの士は必ず讀まざるべからざる天下の良書たり

見よ!!讀め此好著あり!!

鶴田董先生著

婦人の心得べき法律

裝釘頗る美、携帶に便也　正價金六拾錢　送料六錢

法律を知らない爲に、世間の婦人はどの位悲慘な目にあつてゐるか解りません。自分の財產を失くしたり、丸裸體にされたり、罪もないのに罪を被せられたりした實例が澤山ありますが、これを救はんが爲めに發行せられたのが卽ち本書であります。『娘の心得べき法律』『結婚の心得』『妻の心得べき法律』『母の心得べき法律』等を初めとして婦人の知らなければならぬ法律は、總べて極めて解り易く說明してありますから、苟しくも幸福を希望する者、安全なる生活を欲する者、權利を尙ぶの人は必ず讀まなければならぬ天下の良書であります。

本鄕區駒込坂下町四八
大日本雄辯會發行
振替口座東京三九三〇

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

諸官省各學校用筆

登錄商標

書きごゝろ

水筆
眞書
習字筆

本品は凡ての書方に適し理想的製筆なり

東京市神田區多町一丁目八番地

製造元 武居江南堂

振替口座東京一九三二五

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

第十版

陸軍曹長與藤久登著　鴨田脩治閲

最新長身肥滿法

郵券二十五錢送附あれ送本す

せいの低き人本書に因て療養する時は忽高くなるやせたる人病後産後其他生れ付きの人も忽ち肉付強健となる不思議の療法也。

第三版

陸軍教授西野豐先生序　鴨田脩治著

どもり矯正法

洋綴總クロース　金字入美本　正價金四十錢　無送料

本書は彼の有名なる墺國醫學博士コオン氏のドモリ矯正法に則り著者が多年の研究に依り一二改良を加へ世に公にせるものなれば本書に就て矯正せば如何なる強きドモリの方にても數十日の練習にて正音を發して得るのみならず倘ほ雄辯の人となり得る事が出來ます、かゝる良書なればドモリにて苦む人は勿論小學校の教員方や褓姆の職に在る方は是非一讀するの義務があります。

第三版

醫學士高岡先生閲　鴨田脩治著

近視眼豫防及矯正法

眼球解剖圖入り　正價金四十錢　送料免ず

今や文化の進歩と共に學生にして殆んど近視に侵されざる者あらず。近視を恐るゝは愚なり恐れざるも亦愚なり其理審かに本書にあり既に幾分にても其疾あるものは瞬時も早く本書に依て之を矯正し。幸ひに其患なきものは一日も早く本書を讀みて未然を防ぐことを怠る勿れ。

新刊

醫學士佐々木金次郎序　鴨田脩治著

神經衰弱豫防と其療法

洋綴總クロース　美本　正價金三十五錢　郵送料金四錢

近時社會の狀態益々複雜を加へ生存競爭愈々劇しく生活難處世難の嘆聲は到る處に呼號反響し神經衰弱者の蔓延流行驚くに堪へたり誓めざるべけんや。本書は卽ち時代の要求に應じて專ら自衛的療法を教へん爲に現はる深切懇到親しく仁醫の治を受くるに異ならず同病の襲擊を豫防し及び自療の確効を收めんと欲するものは來つて本會に訴へよ。

米國醫學博士曾根操女史序　小舟女史　鴨田坦子著

現代女子の職業と其活要

洋綴總クロース　美本　特價三十五錢　送料金六錢

一名女子の職業案內

現代女子は賢母良妻たるべきか、將た獨立自營すべきか本書は小學卒業後如何なる方面に將來の方針を採らんか、自己希望の職業に對する方法準備は果して如何に爲すべきか、獨立自營の女子の職業は如何にして獲らるべきものなりや、其方法、收入は果して如何之等現代女子の面前に橫はる緊急なる大問題に關して、之が詳細明確なる論評と其方法を指示し現代及將來處世の方向選擇上に於ける忠實なる顧問として現代の要求に應じて生れたるものなり乞ふ世の姉妹方は勿論女子を持てる父兄は是非一本を購ひ其の家庭の幸福を得られよ。

婦人畫報記者坂本易德先生序　與謝野晶子女史題詠　鴨田脩治著

最新美顏と美髮

美顏美髮の寫眞入　美本　正價金四十錢　送料金四錢

美人ならざる人之を讀めば美人となる美人たる人之を讀めば愈々其美を發揮す本書は世界的文明的現代的として最も適切に最も穩健に眞正の美人となるべき要件を親切叮嚀に指導したるものにして一々實地に應用し得べき新法也時代に後れざらんとする人々は是非一本を備へざる可らず。

新刊

文學士鈴木觀月先生序　鴨田修治著

惡癖矯正法

總クロース金文字入　二百五十頁　正價金五十錢　送料金六錢

世には惡癖ある爲に向上發展を妨げられ一生を不遇に終る者多かるべし然らば惡癖は一クセ牛クセたりとも改めねばならぬ本書は惡癖のありとあらゆる者を捉へて一々之を原理に照し丁寧に其矯正を講明したるものなり現に惡癖に苦む人は勿論小兒及び他人の癖を矯正すべき必要ある人は是非一讀あれ。本書內容は酒、煙草、嘘つき、盜心、寢小便、放屁、座睡、朝寢坊等の諸癖より姦通やきもち燒の癖に至る目次總計百十餘件。

發行所　東京市本郷區丸山福山町四番地　日本藥學協會

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

しないが、婦人を戀ひ慕ふの情が決して野蠻人よりも冷かであるとは云へぬではないか。ミル、シエレー、シルレル、ゲーテ、ペリクリス等の如き詩人、政治家若しくば學者は、其の智力の優秀なるを以て有名なりしと共に、又其の情愛に於ても實に深かつたではないか。ソフイヤ・コバルブスキーだの、ジヨヂ・エリオツトだの、エリサベス、ブラウニングだの、如き婦人は孰れも其の智力非常に優れて居たが、同時に男女間の情愛に於ても非常に深かつたではないか。智識が進みし爲めに男女が相互に慕はしくない樣になると云ふことは、人類の實際に於て有り得ないことである。ヂヨーヂ・サンドの如きは、世人の知れる如く、頗ぶる其の風彩に構はぬ婦人であつたけれども、其の智識の發達非常なりし爲めに、凡ての男子から尊重されたではないか。(E)婦人の智識が進むと小供を愛しなくなると想像するのも之れ又間違である。例へば亞弗利加のブツシユ婦人の如きは僅かの貨幣か、酒の一瓶とかと、自分の小供とを交換して平氣だが、斯かることは文明社會では見ることの出來ぬ現象ではないか。歴史を見るに婦人の智識が進めば進む程、其の生んだ子を愛すると云ふ事實が數へられぬ程であるではないか。

(F)若し果して然かりとせば、何故に男子が婦人の新しき智力の勞働に入ることを嫌ふのであるか、烟のない所に火がない筈であると云ふ人がある。併しながら私共の立場より云へば烟の如く見ゆるものは、たゞ其の外觀だけが煙に似て居るのであつて、實際は煙でないのである。婦人の自由が增し、其の經濟上の獨立の基礎が固くなり、而して其の訓練も智識も增しても男女の間の情愛を絶滅することが出來ない事は明かであるが、併しながら其の進歩の爲めに或一部の男子と或一部の婦人との間を疏隔するの事實あることは、認めることが出來るのである。(イ)腕力之れ權力なる野蠻の社會に於ては婦人を自分の自由にするにも、腕力丈けで勝手な眞似の出來たものだが、婦人の智識が增し、考が發達し、男子を撰擇する自由も增せる今日、尚ほ腕力のみで婦人を自由にしやうとするものにとり

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

ては、婦人の進步は不便となるのである。ソウ云ふ男子は社會が變る爲めに損をするに違いないが、併し腕力で婦人を自由にしない、モット高尙な手段で婦人を愛せんとするものには寧ろ社會のソウなることが得である。(ロ)又今日の文明社會に於て尙ほ智識よりも學問よりも乃至は德望よりも、財產を以て婦人を引きつけやうとする者がある。而して婦人の側にも賣淫婦と同じ様に、ただ金錢で以て身を賣る婦人が澤山にあるのである。ソウ云ふ婦人をソウ云ふ男子が買て自分の妻とする。ソンナ男子にとりては金錢で身を賣らない智識の廣い、德の高い婦人は如何にも不便であるに相違ない。ソレから又妙なことには、婦人自身の中にも餘り婦人の智識の進むことを好まぬものがある。サウ云ふ婦人に限り、自分は何等の智識もなくたゞ男子の情慾の奴隷たるの力しかない。斯かる婦人は男子が智識の進んだる婦人しか娶らなくなれば、忽ち自分の身に影響が及ぶので、婦人の智識の進むことを嫌ふのである。更に又ツラ〳〵世の中を見渡すに、生活の度が漸次高くなつて來て、其の爲め立派な男子で財產がないばかりに妻を娶ることの出來ないものが澤山あるのである。斯かる社會の狀態にては淫賣なるものが止むを得ず盛んになるワケである。併し若し婦人が進步したる智識と進步したる見識を持つのみならず、其の智識で一家の生計を助けることの出來る様になれば、其の收入の少ない、されども將來望みのある男子は、ソウ云ふ婦人を娶ることが出來て、從て淫賣なるもの地を拂つてなくなるのではあるまいか。

　斯く考へて來て、婦人の智識が進步して經濟上の自由を得、又其の社會上の獨立充分となれば、男女間の情愛滅せざるのみか、寧ろ反て男女間の情愛が自由にもなり、增しもすると云ふことが、愈々明白となつた次第である。腕力で婦人を掠奪することがなくなり、又今日尙ほ文明社會に行はれて居る、富で婦人を誘惑する様なこともなくなつて、將來は全く純潔な情愛で男女が互に結合する時代となるであらう。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

婦人運動昨年中の進步

フォセット夫人

カブール伯は伊太利の統一を見ずして死んだが、彼は其の信仰の眼を以て、確かに其の統一の日の來ることを見て居た。丁度其の樣に私共もまだ目的は達しないが。私共の運動の成功の日の必らず來ることを、信仰の眼で見て居る。さて昨千九百十三年中に私共の運動は左の如く進步しました。

1、勞働黨は昨年、其の年會に於て、婦人にも選擧權を與ふるの條項を含むにあらざる限り男子の選擧權を今日よりも擴張することに贊成しないと云ふ、決議を爲しました。

2、婦人選擧權協會の非戰鬪的國民同盟によりての遊說計畫は各地に於て非常に歡迎されました。

3、婦人に選擧權を與ふることは、アラスカに於て、其の議會を通過しました。

4、婦人の選擧權獲得運動はイリノイで勝利を得ました。

6、北威に於ては、六年間實行した上の經驗で國會に於ける諸黨派の贊成を得て、更に婦人の選擧權を擴張しました。

6、婦人選擧權法案は六票に對する百〇一票の多數で丁抹國會の第三讀會を通過した此の時棄權したものは四人でしたとのことです。

7、和蘭の國會開院式に玉はりし女皇の勅語の中に、婦人選擧權に就ての御言葉がありました。

8、教友派の倫敦年會の報告よりの中に、婦人選擧運動に對して、同情ある議論がしてあります。

9、ブダペストにて開會されし、萬國婦人選擧權會議に出席せし、既に婦人に選擧權を與へ居れる國の代表者によりて、婦人の投票の好成績に就ての幾多の證據が示されました。

10、サウザンプトンに開かれし教會の會議に於て、婦人選擧權運動に援助を與ふるの議が可決さたました。

11、二百萬の勞働者を代表する勞働組合の年會は、婦人に選擧權を與ふることに贊成せざる政府を非難するの決議を爲しました。

12、アルスター勞働組合の會議は、其の憲法草案に於て婦人選擧權主義を採用し、其の支部政府を組織する際に、婦人にも投票せしむることとしました。

13、自由婦人選擧權同盟にては、自由黨の候補者にて、婦人の選擧運動に贊成せぬものには一切援助を與へぬと云ふ決議をなしました。

14、婦人選擧運動に援助を與ふる爲めに自由黨員の一團體が出來ました。

尚ほ私の見落したものもあらうが、以上丈けでも一年間の進步としては、小さいものではありません。私共の全勝利を得るの日は、延びることはあつても、來ることは確かです。(雜誌英國婦人一月號より)

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

女人國記（四）

西川光次郎

土佐の女

◎他國人が土佐へ這入つて第一に驚くのは、川や入江で爺さん婆さん達が盛に釣をして居るのを見ることである。他國ならば隱居して之れから後生を願ふべき筈の老人が土佐ではモウ、隱居の身で暇であるからと云うて、殺生を樂しんで居るのである。之れを見て驚いた所から土佐は鬼國であると云ふに至つたのであるが之を以て直ちに土佐人は鬼人である。土佐人は人情を知らないと爲すと間違ふ。

◎偉人野中兼山が出て、儒敎で以て土佐人を敎化し、寺院を潰し、佛敎思想は力の及ぶ限り之れを排斥して了つた。土佐では老人までが後生を願はず、反て殺生を樂しむに至つて居るのは、全く此の兼山以後に起つたものである。

◎兼山は物質的に土佐を富有ならしむる上に大に盡した人であるが、精神的にも亦た大に盡した人、否土佐人の精神を改造するまでの仕事をした人である。寺院を潰す程の英斷を爲したのみならず、土佐では元來火葬であつたのを土葬に改め、其の葬送に際しては涕泣慟哭すべきを奬勵し、能く泣くものには賞を與へる樣なことまでしたのである。土佐の諺に『泣みそ三匁、よう泣いて五匁』といふことあるは、兼山が右の如くしたるに濫觴して居るのである。

◎兼山の母は、三十三歲の時より寡婦となり再嫁せずして兼山を敎養した賢夫人である。兼山の死後、反對黨が勢力を得て、兼山の子等は宿毛と云ふ所へ幽閉された。此の時に四女の婉子は四歲であつたが、其後四

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

十年、彼女は四十四歳の時に、始めて赦免に會うて朝倉に歸住した、婉子は幽閉中醫術を學んだものと見え朝倉に歸つた後、醫を業として、好んで貧者の病を治して居た、偶々仕官の者の來りて診斷を請ふあれば、障子を隔て脈所に糸を引きて診斷し、一切面接することを避けたとのことである。他の子は不肖であつたと見え話が傳はらず、獨り婉子が兼山の精神を傳へたと稱せられて居る。

二

◎土佐人が議論を好み、爭鬪を悦こぶのは、誰でも承知して居ることであるが、土佐人が斯くなるに至りしには永い間の歴史がある樣である。

◎土佐は御承知の通り櫛の形をした國である、而して川が櫛の齒の樣に國を縱斷して幾筋も流れ、夫れによりて國が幾個にも分れて居る、此の地形から自然群雄の割據を來たし、土佐は久しく七雄相爭ふの土地となつて居たが、長曾我部氏が勢を得て遂に之れを統一した。而して間もなく長曾我部氏は亡されて、山内一豐が茲に封ぜられた。山内氏は小身からダン／＼出世した人であるから、其の家來には遠州で抱へたもの、播州で抱へたものありて互に相爭へる上に、土佐に來てからは、此等の藩士と、長曾我部氏の舊臣で郷士となつて居るものと相爭うと云ふことになつた。土佐の武士道は、これが爲めに進歩もしたが、之れが又土佐人を益々議論好き、喧嘩好きとする原因にもなつた。

◎土佐人の此の喧嘩好きなことから、彼の鬪犬を好むの風なども起つたもので土佐人は白犬が赤犬になつて仕舞ふまで喧嘩させて、見て以て愉快として居る、女の中にさへ此の鬪犬を飼て居るものがあるとのことだ。又土佐人の議論好きなことが、土佐を自由民權の祖國たるに至らしめて、日本に於ける土佐人の位地を高からしむるに至つた。

◎土佐人は斯く議論好き、喧嘩好きであるから、自然確かりして居る。土佐の女を下女に使つた人の話に、やさしさには乏しいが、一朝家運の傾いた樣な場合に

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

は大に力になるとのことである。

三

◎幕末に於ける土佐の女の中では、最も注目に値するのは、坂本龍馬の姉乙女である。彼女は龍馬をして『天下第一のお轉婆』『女のお仁王樣』と云はしめた程の女である。女でありながら脱藩して天下を漫遊し勤王の爲めに盡さうとした程の女で、龍馬の如きも、姉の薫陶によりてアレ丈けの人物になつたものぢやソウである。其の外にも、高知市の郊外に聳えて居る鷲尾山へ、夜中青年をつれて行て其の膽を試めしなどして、彼女は青年の中から多くの勤王家を拵へたとのことである明治の維新に關する龍馬の功績を認むるものは、其の後ろに此の婦人あることを忘れてはならぬ。

◎土佐の勤王家は、其の陰謀の密使に女を使つたものぢやソウである。又坂本龍馬は其の同志平井修次郎の妹を宮中に入れて、宮中から動かさんとし、先づ宮樣へ彼女を入れたが、彼女の兄が反對したので、坂本の此の計畫は中途で挫折して了つたとのことである。

◎明治になつてから最も光つた土佐の女は、谷干城氏夫人くま子である、彼女は夫、干城氏をして『くま子の欠點は顯微鏡にかけても發見することが出來ぬ』とまで云はしめた女である。熊本籠城中の時の如き、彼女は自から炊事の任に當り、澤庵までも自から切つたが、いよ／＼食物欠乏し、澤庵も一本しかなくなつた時、彼女が其の最後の澤庵を出して、自から切つた庖丁が今も尚ほ遺つて居るとのことである。

◎自由民權全盛時代には、土佐では七歳の子供まで演説したと云ふ程であるから、無論女も自由民權に熱した。中島湘煙女史が曾て高知の劇場で演説した時の如き、傍聽席は婦人を以て充滿し、男子は殆んど入場することが出來なんだと云ふことである。

◎此の時分高知市に『とつぴ藝者』と云ふのが現はれ自由民權大の熱心家として、名高かつたと云ふことである。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

四

◎土佐には瘠地が多いので、舊幕時代には人口が無闇に增えては困るので、墮胎は默許の狀態だつたが其の時分捕鯨は官營事業で、鯨方には家族の數に比して分配したものなので、鯨方は子の多きを便とした、ソコで鯨方の間には墮胎は少しも行はれなんだと云ふことである。又新平民の多くは眞宗の信者なので、彼等は一切、墮胎は行はなんだと云ふことである。

◎最後に附記して置きたいのは、石田三成の臣山田去暦の娘、阿庵が其の晩年を土佐で過ごしたことである阿庵は其の父と共に關ケ原の戰ひの時、大垣に籠城した人で、其の籠城記、阿庵物語は歷史家に珍重せられて居る書である。

此の文を草するに就き和田三郎氏の談に負ふ所多きを、玆に感謝して置きます。

本社の相談部

本年一月より、本社内に相談部を設け、

(1) 職業を求むる御婦人
(2) 職業の選擇に迷ふ御婦人
(3) 家庭及び一身上に苦悶ある御婦人
(4) 結婚の事

の爲めに、御相談相手となりて、出來得る限り力を竭さうと云ふことになりましたから、右の中の件で誰かに相談したいが生憎相談相手がないと云ふ方は遠慮なく本社相談部へ申込んで下さい、本社相談部の主任に面會したいと云ふ場合には午後六時過ぎにお出で下さい、夜お出の出來ぬ方は、豫じめ時間の都合を聞合せての後に御出で下さい。

新眞婦人社

二十歲前後の婦人で會社の事務員を望まるゝ方は、本社へ申込れたし、二三賴まれてゐますから。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

妖精の囁き

鳥林あぐり

私の名を自らは何となのらう？　人間は種々に呼んでゐる。理想と云ふのがまづ近い一般的な稱號であるらしいが、其外朧ろげながらにも美術家は美とか氣分とか感じとか簡短な言に含め、哲學者は觀念だの概念だの實在だの本質だのと、複雜な道具をつかつて、いひあらはし若い宗教家は永遠の影とよび力とよび生命と呼ぶのをきいたことがある。詩人はことに、絶えず私に注意をはらつて、あとを追ひ求めながらいろいろな名でよんでゐる、或る時は神來といひ、或る時は情調といひ、或る時はフエーリーといひ、或る時は夢の現と云つてゐる、私が野の末の狹霧の中や、五月の野徑の遠い曲り角や、日影ちらめく林の木の間や青白い月下に銀の網をひろげてゐる池の水面や白鳥がスーと辷つて來る中島の蔭に漂うてゐる時など、人格化して戀などと呼ぶのも聞いた、私の名を自らは何と呼ばう？　たつたひとりの父から出た私たち無數の姉妹は全宇宙に一ぱいになつて漂うてゐる。然り漂うてゐるけれども、それを知らない人が此地球上丈にでも、どれ程あるだらう、またほのかにでも心づいてとらへ樣々として生涯を過してしまふものがどの位あるだらう、私たちは常に動いてゐる、かたくなつて一つところにぢつとしてゐることはゆるされてゐない、たゞ單に道を歩いてゆくとしても、靈とは手をひき抱きあひながらもゆかれるが物質としての人間に對しては彼等が立つてゐる處より四五十歩先へ先へとあるいてゆく人間がそこまで來れば私たちは又それ丈先へすゝむで、こゝまでおいでと手招きをしなければならない、極々稀には人ずくなの場所などで靜かに坐してゐ

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

る人間の傍へソッと近いて坐つて見る事もあるが、一つ言のさゝいな調子や、眼の動きかた——虻の歌や蜜蜂の羽音より微妙な小さい空氣の震動にも驚き怖ぢて飛び退かねばならぬほど、デリケートに造られてゐる、幸か不幸か私たちのある事を知る心と、ときに見るめをあけられた比較的少數の人間は、その爲にどれ程樂しみもし悶えもし苦しみもし悲しみもし憧憬もするだらう、丁度人間が造つて住む家といふものゝ二階から愛の聲かけた主人を庭から見あげた飼犬が近づかうとして血だらけの肉をきり泥だらけの野菜を洗ふ臺所へ驅けこむ樣な事をしてはいたづらに歎き疑ひを深くしてゐる、私はそれを見るたびに私の眼は悲しさうになつて寂しく光つて來る、私は、海邊でやどかりといふ名さへとつたあの小動物が貝殼を自分の宿とする樣にしば／＼よろこんで人間の中に住む、あゝそれがどの位、その人の俤を輝いて見せたらう、それを見る人をどの位、あこがれしめたらう、けれども私はいつもそのうちに長くゐられない、この世の中の酋長たちが私の住ひ家を遠まきにして醜いかたちのものや、厭やな香りのものを、いくら無神經にならうとしてもならないほど窓や扉から投げこむので、どの位戸をしめてふせがなければならないか知れない、ついに眞珠のキーのならんだ私の大切なピアノまでが私にうらぎりして私の彈かない私の歌はない不思議な新曲や流行の俗謠を小聲で歌ひ出したりする樣になると私はもう我慢できなくなつて、そこを出てしまふ、私は其所を思ひきつて去るまでにどれ程ひとり顏を赤らめるだらう、どれほどあさましさをしのぶだらう、實際中々永久に我宿として安んじて住まれる家は人間のなかには見出し難い、けれど天の父上から私たち無數の姉妹がわかれて出る時、あらゆるものをすべて皆お前たちのものとするまで休息してはならないと云はれて來た、それを私達は忘れないから、始終動搖浮動して働いてゐる汚れて恥辱をまきちらす惡魔の子等と戰うてゐる、もし私たちがたゞ安逸をむさぼらうといふのならば過去と未來のうちにのがれさへすれば面倒な事はない、そ

Digitized by Google

Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

こには多くの姉妹がゐる、青白い面に幽鬱な眼をもつて、けれど落着いて少し微笑んでゐるのや——新緑の林のひまや森のなかの青苔の上に、踊る日の光の様に楽しげに笑ひながら小鳥の様に短いうたを折々歌つてゐるのや——けれど現在に引きいだしたら恐らくは耐えられるものは少いだらう、夢といふか空と笑ふか悪魔の子等よ、白百合の香り漂ふ離れ小島に私の見出したこの小さい一ッ家よ、風に動くな、波にゆらぐな、虚空に笛吹く魔の子にはたて琴の秘曲きかすな、永遠に静かなるわが聖き住居よ。

同情ある方々へ御相談

私は一月の二十日過から二月の中旬までは東北問題で過ごしました。なほ今後も實際運動として、しなければならぬ仕事が澤山あります、又いろ〳〵と勉強もいたしたい、いたさればならぬと存じます、時間と勞力とを善用して家庭や社會革新の爲めにどれ丈け、いたさればならぬ事があるかしれません。それで雜誌經營の事のみに沒頭して居る事か出來ません。就きましては購讀者を増やして雜誌の基礎を固くし、經營に骨の折れるとの少ない樣にせればならぬと思ひまして、昨年末から新年にかけて見本擴張費について皆樣に御賛助を願まして、既に左の方々の御承諾を得ました。

高野重三様　百部代つゝ
古谷精一様　二十部代つゝ
日向きむ子様　二十部代つゝ
三の村きよ子様　十部代つゝ
小口みら子様　十部代つゝ
池内澄子様　十部代つゝ
遠藤はつ子様　十部代つゝ
高橋雪子様　十部代つゝ
石川貞吉様　十部代つゝ
吉岡彌生様　十部代つゝ
山下まつ子様　十部代つゝ

のです。

普通ならば婦人に經濟の自由や時間の自由のない、現今の社會制度では雜誌を讀んだり、會に出席したりしてする丈けでも重荷なのですから、會員の方々にはあまり御願しない樣にと遠慮して居りましたが、なほ大に擴張しなければ、ならないのですから、どうか五部づつでも十部づつでも出來る丈け自信のある丈を、向ふ一ヶ年間を約して引受けて下さる事を切に希望いたします。そして其送附方は直接、御友人御知人に御配布下さるとも、本社に御任せ下さるとも御隨意でよろしいのです。（西川文子）

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

其の夜

三野村きよ

女は細巻のロシア煙草を燻らして居る、艶々しい丸髷には水色のてがらが一際美しく見えた、象牙細工を思はせる形のいゝ指先きに薄い爪が肉に喰ひ込んでるやうに切られて、紫色の煙が漂よう口許で巧に動くのを、憎いやうな氣持で男は惚れ〲と眺めて居た。

「あたしの方へ來て呉れつて言つたのがそんなに氣にさわつたの？」

「いゝえ」男はよそ〱しい返事をして横を向いた。

逢ひに來てくれと男から言つて來たのに、都合が出來なくつて無理に來てもらつた、其仕打がわけなく腹立しいのを女はよく知つて居る、斯いふ場合には何時もすねて眞面目な態度に出て來るのを擽ぐられる程お可笑く思つた、その度に何となく調戯ひ度いいたづら心がむら〱と起つて來る。

「そんなにいやなら歸つて頂戴」言ふなり白い半巾をまるめて男の横顔に投げつけた、それでも男は身動きもしないで默つて居る。ふとその潤ひのある澄み切つた眼を見ると、しがみ付いてやり度い程の懐かしさを覺えた。いつそ「自分」つてものを全部投げ出して此男の愛に浸してみたい、夢のやうな優しい女に成つて甘えてみたい……けれど女の美しさを増すといふ涙さへ男の前には流す事を口惜しく思つてるあたしが、まして世間並の女みたやうな媚をみせたかと思はれるのも此上ない不快ぢや無いか……こんぐらかつた感情が弱くなつた胸に一度に込みあげて來た時、言ひ知れぬ寂しさ冷たさに女は苦しい息をつゐて男を見あげた。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

「なぜ默つてるんだい」男は柔らいだ聲で聞いた。

「…………あたし言葉なんてつまらないもんだと思ふわ、斯うして貴郎の眼をみてる方がよつぽどいゝは……貴那さうおもはない？」

「おまへの口はうそを言ひたがるからなあ」男は機嫌よく笑つた。

「また始まつた、貴郎は何時まであたしを疑ぐつてるんだらう、あたしのする事は何んでも芝居をやつてるつて言ふし、ちつとも眞實にして呉れないのね」

「さう言ふけれどあたしは最うすつかり貴郎を信じてるのよ、あなた全體をね」

「情實に引つかゝつてる女だもの、まだ駄目だよ」

「馬鹿正直な男だからつていふんだらう、フヽン」

「まあ憎らしい、さうかもしれないわ、だけどねあたしははつきりと言ひますがね、貴郎はたしかに死ねない人よ、あたしは貴郎が死んで呉れつて言はなくつても死ねるのよ、けれど貴郎は逃げる、きつと逃げるは……私やさうして逃げてゆく男を追ひかけて殺してやりたいと思ふの」

「それが分つてるなら餘計な世話ぢやないか、己れなら逃げてゆく奴は奇麗にすてゝやるがなあ」

「そこは貴郎とあたしと大變に違ふのね、飽きて逃げるからつて捨てられるもんですか、命がけで思ひつめた男なら私やきつと殺してやるは」

「殺したつて肉體ばかりぢやないか、つまらない！」

「いゝえ、殺される刹那に男が惩う思ふかと考へてごらんなさい、嬉しくなつてしまふわ」

女は半ば夢みてるやうに口走つた。男の青白くなつた顔が浮んで來る、逃げやうとする胸先きに確つかり掴ん

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

で、あの秘藏のピストルの筒口を押しつけたなら……
「あたしのものですよ」斯ういふ自分の姿が見えて來たので、女は瞳を据へてホヽヽと笑つた。
「氣違ひ！」男は氣味惡さうににらみつけた。
「えゝ何とでも仰つしやい、私や命のやりとり迄行かなけりや眞實の戀は得られないと思ふの、貴郎は因果だと思つていらつしやい、私や最う離さないから……」
女は男の膝に突伏すと、すらりとした肩から帶のあたり迄波を打たせて啜り泣いた。
「泣くんだね」
男は始めて女のいぢらしい姿を見る事の出來た悦びから女を強く抱きしめた、ぬれた頬に幾度か熱いキッスをした。
「なぜ逃げると思ふんだ、なぜ自分のものだと確信しないんだ、えゝ！」
女は男の胸に顏を埋めたまゝにつこりした。男の濃い睫毛にも雫が宿つて居た。
「あたし最う世間の義理も人情も何もかも思ふ事は無くなつてよ、つまらない事だわね……あたしを何處へでも連れてつて頂戴、何だか強くなつちやつたわ—」
「お互ひによく分つたんだ。いゝねよく分つたらう？　此上は最う時間の問題だぜ、己れはこれから旅にゆく」
男は急に立ちかゝつた。
「あたしもゆくわ……ねえ一處に」女は犇と取り縋つた。
「一人〱で離れて考へる必要があるんだ、分つたろう」
「まだ疑ぐつてるの？　どうせ貴郎にはあたしひとりを此牢屋へ殘してゆかれるんだから、よくつてよ」

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

「牢屋か……けれど其牢屋を捨てる事もよく落付いて考へてごらんよ、いまに牢屋が戀しくなる時が無いとも言へないぜ」

「そんな時があたしにあると思ふんでしようか、いゝわ……旅へいらつしやい。きつと永く離れて居られないんだから」

「それも氣分だよ」

「…………」

「さあお離し、あしたと言はず今夜直にいくんだ」

「何處へえゝ？」

「氣の向いた方へ」

男は外套を手に取るなり部屋を出て行つた、女はぐつたりと長火鉢の上に崩れ伏した。

輕い雪駄の音が敷石のうへに響いて門の潜戸の鈴が霜夜に顫へるやうに鳴つた。

「行つちやつた」低いかすれた聲で女は顔をあげるなり凄く笑つた。

「あの人があたしを離れてどうして生活出來るだらう、きつと歸つて來る、歸らずには居られない。あたしは自分の力の強さを眞實に信じる事が出來て來た、最うあの人は何處へもゆかれないんだ。」

女の引締めた唇と輝く瞳には何ものかを期待するやうな強い光りが見えて來た。

* * * * * *

夜更けた街にはうどん屋の聲がする。

男は何處まで行つたらう…………？

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

婦人論八ッ當り

八方醜婦

二月號の雜誌類には、專門に婦人問題を論んじたものが、澤山ありませんので失望しました、而かし

「女子文壇」に掲載されました「眞と幸福」と云ふ片山伸氏の一文は、婦人の自覺を高調したもので、確かに一讀の直打はあります、斯かる論説でモット具體的に、誰にも解かり易すく書かれたものが、澤山掲載さるゝ樣になれば、大さう結構な事だと思ひます。

「婦人の友」に羽仁もと子女史が「新貞操論」と云ふ題で、婦人の貞操は只に一婦二夫に見みへずとか云ふ如き、狹まき意味のものでなく、廣ひ意味で、自己の眞心を立て通すつもりで、幼少の時から、當住坐臥、事に當り物に處し之れを養ふ事を務めなければならぬと、反覆丁寧に、女史特有の常識と口調を以つて、縱橫に論ぜられてありますが、中々面白ひ議論です、女史の議論は何時も常識に富み、實行し易く、又實行し易い樣に說ひて居られますのは、感心です、それに何處迄も進歩的の氣分に滿ちて居る爲め、一層嬉しい感じが致します。

「婦女新聞」の一月三十日分から、例の高野重三氏が、「婦人問題早わかり」と云ふ題で面白く且つ平易に、婦人問題の概略を述べ始められました、察するに婦人問題と云ふ事は、其聲の大分喧かましい割合に、全體どんな事を論んずるのであるか、知らぬ人が多き爲め、同氏は其研究者の立場から、其大體を、世人の參考に解かり易く述べ始められたのであらうと思ひます、果してさうなら何より善ひ思付です、只同氏は本社の贊助員の事でありますから、私の口から其論文を褒むれば、自畫自贊になり、惡ろく批評すれば、同志打になる事ですから、彼是の批評は御免を蒙りますが、可成諸處で評判にしなつて居り、既に都下のある高等教育を施こす有名なる女學校では校長自ら生徒を集めて此「早わかり」を一同に讀み聞かし、大にかゝる問題に留意する樣勸めて居られるとの事も傳聞しました、兎に角是非どなたにも右「早わかり」を御一讀あらん事を御勸め致します。

「第三帝國」の一月十日の分に出で居ります、本社の西川文子女史の「家庭より出で來りて街頭の女たるべし」との御議論は女史の立場からは至極御尤なる御議論で、家庭の外婦人の働き場所がないと考へて居らるゝ御婦人方には必らず御一讀を御勸め致します。

先頃此「新眞婦人」で男子の不品行を論んじ始めてから、餘程其反響が彼處此處にあり、諸婦人雜誌とも此頃皆頻りに種々の方法又は方面から之れを論じ又た婦人方の偽りなき告白なども掲載して居りますが、之れは誠に結構な事でありますが、又一方から云へば、かく迄男子の不品行を婦人雜誌で論んぜなければならぬ程、男子が不品行であり、又世間なり家庭が亂れて居ると云ふ事は、實に遺憾の至りです、而

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

かしある事はないと云ふ譯に行かず、且つ男子の不品行を日本の社會又は家庭より取り去らば我國婦人問題の大部分は解決の途に向うと云うてもよい程ですから、今日此方面の問題が持上るのは已むを得ないのみならず、早ければ早い丈、却つてよい譯でありますから、何にも私が醜婦で嫁入り口がない腹癒せに彼是云ふのではありませぬが、更に一層此方面に火の手が上がるのがよいと思ひます。が、只だ不思議に耐へないのはかゝる議論や實際の告白に對して、男子の方からは、これと云ふ程の辨駁の出ないのはどういふ譯でしよう、敢て齒牙にかけるに足りないと云ふ意味でしようか、若しそれなれば婦人の方から益々此種の議論を盛んに唱へて男子をして沈默して居れないようにする必要がありましよう、それとも男子の方では之れを辨駁する丈に潔白でないのでしようか、それなら一日も早く品行を愼しみ、人格に於て、德操に於て、婦人に彼是云はれる事のないようにせなければならないでしようか、それに私は何も男子の肩を持つ譯ではないですが男子の不品行は必らずしも、男子計りの罪でなく、鈍女、惡婦、愚妻、世間知らず、お孃様育ち、利己一偏の婦人、家庭に於て何等男子に慰藉を與ふる事の出來ない女子等が、男子を驅つて終に不品行に踏み入らしむる様な事はないでしようか、果してかゝる事實もありとすれば、大に男子から之れを、辯明注意されて、婦人も亦た自ら省みる様になれば、相互の利益及び幸ではありますまいか、男子は品行論に於ては終に婦人に降伏してしまつたと、婦人か自惚れを起さないように。私は切に男子側からも其議論を聞かん事を望むのであります、それに今一つは、男子の不品行に對しては、鳩山春子女史を始め、婦人中の先覺者を以つて自らも任んじ人も許るして居る方々は、婦人は只辛抱せよ、忍耐が大事だ、徐ろに時節の到來を待てと云ふ意味に、論んじて居らる様に見へますが、之れも確かに一面の眞理で、又た大體に於ては常識ある議論とは思ひますが、要するにそれのみにては消極に流れ退嬰に終り男子の不品行を矯正するには餘り薄弱ではありますまいか、男子は私の見る所では中々横着で、婦人が辛抱すれば辛抱する程、つけ上る氣味がある様です、度重なる毎に男子は之れを當り前の事の様に心得、婦人も亦た諦らめ、終には習ひ性となつて、婦人が少しでも之れに反抗する場合は直に女らしくないと男子は稱し、婦人自らもさう思ふ様になるのではありますまいか、俗に「女らしい」と云ふ事は、多くはかゝる心細き消極的なる退嬰主義が習慣となつたのではないでしようか、日清戰爭前我國が多年支那に對し屈辱を忍べは忍ぶ程支那が付け上がつた例もあります、日露戰爭前日本が露國に讓歩すればする程、露國は日本を馬鹿にしたではありませぬか、單に城を守る丈では其城は必らず落ちるもので之れを完全に守らんとせば、攻擊的守備をせればならぬ事は、戰術の「いろは」に書いてあります、辛抱、忍耐、讓歩、時節到來を待つ事等は一方に於ては至極結構な事には相違ありませぬが、又一方には男子の不品行をならし、再び社會に其男子が立つ能はさらしむる位に責め付けるのも亦た有力なる一方法かとも思ひます、春子女史はそんな事をすれば直に離緣せれると頻りに脅かされますが、若しかゝる場合に至らば尙ほ更ら男子の罪を公にして、其男子をして再び貞淑なる婦人をめとる事の出來ない様に婦人社會の制裁を嚴重にならしむるは、婦人の務む可き事ではありますまいか、これ位の決心と覺悟がないやうでは、婦人は何日迄も、男子の奴隸に甘まんずるの外ありませぬ。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

奥様十姿（上）

玉露女

（一）

盃の數重なるにつれて夫の君が御顏の色は青くなり増りつゝ、無理、難題は次々に奥様に降りかゝりしが遂にさま〴〵になだめつ答へつし給ふ奥様に浴びせかくる。

「馬鹿!!」

の一聲やにわに發火と盃は飛んで、雪耻かしき奥様の富士額にあたりぬ。

ころ〳〵と落ちたる盃の幸に破れもせざりしを靜かに取上げし奥様は傍の盃洗につと清めて美しき其掌の上にのせて微笑みて夫の君に參らせ給ふ。

無言に取りし盃をそつと膳に置き樣。

「飯だ!!!」

と云ひ給ふ夫の君の御聲は前より低かりき。

（御酒の上のお叱言は駄々ッ子の駄々を申すやうなもの、事實は私の方が勝つたも同然、なれども少しは氣まりがお惡いでせうよ、と常に笑つて話さるゝ）

（二）

十二時一時、時としては丑滿つの頃迄、端然として夫の歸りまち給ふ。

着代へ座布團取揃へ、赤き心の暖かさ松風立つる櫻炭、夜寒の風や如何ならむとねぎらひ給ふ柔しき心。

「旦那様は今頃どんなお遊びをして入らつしやいませう、二次會やら三次會やら」

と云へば、

「お對手もなか〳〵骨が折れませう、藝者などと云ふ

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

者は眠いも寒いもこらへて薄着の衣紋ぬいで夜遲くまでつとめて居る、行末の計畫もつかずたゞ其日〳〵を送るうちには年をとる心配もある。なか〳〵私達が考へた程華やかなものでもありますまい」

（淑女には淑女の氣品ありと凛たる白梅の霜におごれる如くにて、おでやかに咲き盛りてもやがてほろ〳〵と實もなく散り果つる牡丹花なあはれみ給ふ）

（三）

山紫水明の温泉の宿に春の君はセコンドワイフとやらむ速成丸髷の美女を伴ひての十日の留守。

晝は針もち夜は讀み書きにいそしみ給ふ奧樣夜具を干し肌着洗ひて憂き色もなやめる樣もなく待ち暮したまひしが。

やがて歸り來ませる夫が奧樣への御言葉は、

「ア、正月は何かと失費が多かつた、女など着物や道具など欲がらずに經濟に注意して呉れ」

奧樣は快くうなづきて

「成るべく儉約を致しませう、私何も欲しいものは御座いませむ」

「ウム下らない交際などもよしてね」

「ハイ人には體で働いて深切を盡しませう」

（物質に貧しくとも趣味に生きる妾は精神上に富んで居ますとのみ微笑みて綴物つくろひ物などにつとめ給ふ）。

（四）

姑小姑打連れてはる〴〵と來ましぬ。世の人は一人のみだに鬼千疋と忌みたりしを樣々にもてなし世話したる奧樣の朝夕の用事はいたわしき迄に數增してあまつさへ何や彼や惡し樣の陰口受けぬ。

かくて幾日かの後嬉し氣色もなくて歸り行き給ひし後。

「隨分お煩さくいらしつしやいましてせう」

と問へば、

「ま幾日か病人の看護したと思へばすみます、たゞ益らない事を怒る人は自分の氣分が惡いだけ自分の損です、お氣の毒に思ひます、辛いも悲しいも僅かの間、生きて居る間だけの出來事、堪へられるも堪へられないもありませぬ、妾のやうな行屆かぬ人間にも同情してくれる人もあります、一人も同情してもらへなくても皆から憎まれるよりましでせう、まして一人でも同情して呉れる人があればすでに幸福です」

（氷の刃とぐにても春の光と溫き德に逢ひては消えはつるのみ）

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

「貞婦二夫に見えず」よく聴かされた言葉でございます。何でも孝經から出た言葉だと伺ひました。私は凡ての婦人が確固たるこの信念があつたならばと、常に殘念にも、慊らなくも思ひます。

「お互に愛情の交換ができる間だけが、夫婦の存在を意味するのだ」。然う言ふ主意を誰でしたか仰有つた樣に、記憶に殘つてゐますが。私は依然、女は一人にだけ貞操を赦すべき者だと信じてゐます。又、凡ての婦人に自己を尊重して愛護する信念から、貞操を充分重じていたゞきたいと存じてゐます。

愛情がさめたから離別れやう、相愛するから結婚しよう、こんな大根や蕪子を食べる位な心持で處しうる人はありますまいけれど、議論としても首肯できぬのでございます。

覺醒した婦人

——私の考へてゐる——

吉澤波留子

私は娼妓といふ仕事をする女がある事を、婦人の物品視せられ、玩弄視せられ、大きな侮辱を與へられつゝある證明だと思ふたびに一層貞操の尊重を思ひます。

婦人は半面に偉大なる魔力のある者だ、——諺に罪惡の影に婦人ありとか申す通り、不世出の英雄でも頭をあげえない、——何物にも屈せぬ人も、ある種の婦人には叩頭するとか申します、よく例にひきだされるクレオパトラがシイザルを動かした話、常盤御前が平清盛を動かして三子の命乞ひをした話など。けれども果して婦人のために地位を進め得たでせうか。男子の野獸の樣な性慾的な本能を滿足させた事は婦人問題からみれば寧ろ悲むべき事象とより眺められません。

是非婦人は貞操を固持して、二夫に見みえぬ信念を確得せねばならんと思つてゐます。

つきましては信念を現實し得る力として、是非、經濟上獨立しうるだけの準備の必要があります。如何信念がございましても生活上の平安が努力によつて得

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

られませんでしたら、やはり負けねばなりませぬ、で是非經濟上獨立しうる力を分に應じて婦人自身が、それ〳〵所有する事は一番の事だと思ひます。職業問題も恁うした見界より、婦人自身がもつと痛切に自覺し、慾求する樣にならねばならん。婦人問題の出發點はこゝからだと信じてゐます。

　次に私は婦人の本領は忠實に發揮したい者だと思ひます。どんなに考へましても、私共女は柔順が第一だと信じます。盲從と柔順の見界をよく辨へて、飽くまで柔順であつてほしいと存じます。同時に優美であつてほしいと、何事にもこざわる女、要なきに反抗する女、是が非でも勝うとする女、荒ぽい言葉ではなす女、さしでがましい女などは、心持のわるい者です。まして男子の方は餘計だらうと存じます。奥村五百子女史の樣な方は特別として、普通の女はやはり柔順で優美であつてこそ、なつかしうも又奥床しうございます。私は婦人のために、もつと〳〵柔順なれ、優美なれ、さらに謙遜なれと希ふのでございます。

猶、婦人には心持よい着物を着せうる働と、美味い食事をなさしめる働と心持よく樂しく休ませる家を與へる働を所有したいものだと存じます。權利は働の別な表現だとか、力は有用といふことです。で、婦人の働きは先づ生活の根元である衣食住にあらはれるのでせうで、忠實に働きよき結果をうれば、その婦人現實は有用になり、有用になれば價値は自然に認定せられる事になるのでございませう。

　で、私の考へてゐる自覺したる――覺醒したる――婦人といふのは貞婦二夫に見えずといふ信念を持ち實行しうる力を所有した婦人が、常に柔順であり優美であつて衣食住につきての働のある人だ、恁うした人を理想だと存じます。

　凡ての婦人が恁うした人になりえたなれば、婦人問題は圓滿に解決がつくであらうと思ひます。新しい婦人だとかの新運動は、或は世間の耳目を一新させるのに結構だとも存じますが、男のする事を眞似る樣な行では物たりなく存じます。婦人問題はやはり眞摯な、婦人の手によつて、解決せらるるものでございませう。

（一月三十一日稿）

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

アンナカレンナを讀む

みち子

アンナカレンナの出版されるのを今日か明日かと待ちこがれて居りながら扨て手にして見ると第一あの字のくみ方を見て溜息をつきました、第二にあの頁數を讀んで更にそれが上下二冊あることで、滿紙悉くが金玉の文字とするならば凡婦の私等どれだけおびやかさるゝであらうと怖氣がつきまして、年の暮と新年とを眞中にしてあひ間〳〵を盜むやうにして拾ひよみをしたことは考へて見ると一種の冒險であつたとおもひます。

書いたトルストイがいかに偉大でも同じく人間であり譯者の御風氏も同じく男ではあつても人であるのにと何度も〳〵情なく思つては自分を叱つたりなだめたりして兎も角も一通りはよみました。

けれども露國の農民の生活狀態や貴族の内情やら其他專門に渡つたくど〳〵しい議論はドン〳〵省略してよみましたが露國の女トルストイの見たる女、或ひは見むと欲した女を知ると云ふことが第一の私の狙ひ所でありましたから其的だけは慥かに外さなかつたつもりです。

前に一度私はアンナカレンナの抄譯を讀んだことがありまして其時にはアンナに拂つた敬意や同情や感鳴は大した物であつたのでしたが此全譯をよんで甚だしく其悉くの情が破壞されて終つたことを知りました。

此全譯を讀む迄のアンナは私の尤も好ましい女性の一人でありまして、少々の我儘や勝手を働いても喜んで許すことの出來た人であつたのでしたが今度再會したアンナには夫れだけの感鳴が起きないのです。

割合に平凡な何でもない女に過ぎないのでがつかり

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

して終ひました、嫉妬にもゆる嫂の心を柔いで一寸ばかりの働きをしたゞけで跡に殘された物はすぐれて美しかつたことゝ至る處で人をチャームする一種の魅力が稲妻のやうな幸福を持つて來て救ふことの出來ない不幸と取替えて去つて終つただけ、たゞそれのことなのです。

アンナカレンナ全部の藝術的價値を云々するならば私は此世界的大作が私共の見たる貧弱なる全社會の幾層萬倍深く又大きく廣い物であるかと云ふことに驚嘆さゝれて終ひますけれども今から四十年程前のロシヤの典型の女としてのアンナには少からず失望をして終ひました、尤もかくあるべき女のアンナではなくしてかくあつた女のアンナであつたとしても十把一からげのやうな女に過ぎないので、小説テレザの慈母伯爵ウロンスキーの情婦として今少し運命の網の目の中を何とか旨くゞりぬける法がなかつた物かと日本の悲劇の女主人公の誰彼と思ひくらべて見ても矢張り私は失望をして終ひました。

家庭教師に手出しをして家庭に波瀾を起させて自分も全く困り切つて居りながら其中でうすら笑ひをするオヴロンスキーと其妻のドリー、嫉妬、戀ざめ、世帶やつれ、育兒の困苦、こんな厭はしい空氣の中で、ひねくれ者にもならず又餘りに見悄い惡感をそゝるやうな言動のないドリー、嚴格に正しく育てられた日本の武家の娘のやうな性格をもつたドリー、こんな風の女が現在の日本では至る處に澤山あります、現に私の親しい友人の中にもあります、嘸あの人のやうな樣子の又あの人のやうな眼や睫毛を持つた女であつたであらうと私はドリーを思つて涙ぐみました。

キッテーは光明の懷に抱かれて居る公爵家の懷ろ兒としてレウキンの妻となつて母となつて幸福なる女の生涯を終る人でせう、堂々とした獅子のやうなウロンスキーの妻となつたなら、女羊のキーテーの運命はどんな物であつたかと一寸考へて見ましたが運命の神樣以外の私には見當がつきません、胃袋が一ぱいの時だけは獅子も可愛いがつて居たであらうとは思ひます

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

が其後のことは分りません。

公爵夫人キッテーの母、此人が一歩脱線をすると、不良老婆になるかも知れんと思ひました此人に小いさい丸髷を乗せて日本式の姑ぶりを見たいとも思ひました、娘を幸福にしてやるのか、それとも自分一己の慾望を満足させるつもりか、智慧が足らんと云はふか先見の明がないと云はふか、ウロンスキーを見立てゝやつてレキンを断るやうに蔭から糸を引いて置きながら、一朝にして不幸になると、あゝ云ふ人を罰する法律が欲しい等と身勝手なことを云つて老公爵の一喝に逢つて縮み上る處等、尚又キッテーの初産にあれこれと氣を揉んで、今も尚ほ聟のウレキンから他人行儀に奥さんと呼ばれて、モスクワへ連れて行つて産をさせる日取りを極める時に、「實際私は何も知りませむ、私はいく萬の小兒がモスクワの地でも生れることを知れて居ます」等と變人の聟のレウキンに云はれて氣を惡くする處等は餘りに穿たれて居るので私は吹き出したくなつたもつと云ひたいことがありますけれども、これで割愛して筆を措きます、此大部の物の全譯をされた御風氏の御健康を祈つて置きませう。

日本女性史

久保田辰彦氏著

神代の女性より筆を起して、現今の女性に至る、六百七十餘頁の大冊子、私は先づ著者の勞を多とせざるを得ぬ。次號の編輯〆切までに精讀して細評しようと思ふから、本號ではたゞ紹介に止めて置く。併したゞ一言して置きたいのは、此の書の結論中の一句

我國民性は純美なる感情を愛し劣惡なる感情を排斥す、而してこの新しき女の主張は劣惡なる感情なり。我國民性は家族主義を尊重す、極端なる個人主義は絶對にこれを排斥するなり。而して新しき女の主張は輕薄にして極端なる個人主義なり。我國民性は良妻賢母主義を歡迎す。浮薄なるお轉婆は絶對にこれを嫌忌するなり。而して新しき女の主張は極端なるお轉婆主義なり。

に就てである。何んだか餘り古い様な氣がする。餘りに論じ方が無造作で、非科學的な氣がする。之れ丈けの大著を爲す丈けの根氣ある著者の議論としては、餘りに無造作過ぎると思ふ、(定價二圓　東京市神田區北神保町十一　弘道會)

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

▲クルイロフ物語（山田枯柳氏譯）

クルイロフは露西亞のお伽作家で獨乙のグリンムヤ、丁抹のアンデルゼンに比すべき大家であると云ふが、私は山田氏の譯書によりて始めて氏の作物に接し、成程とうなづかさるを得なかつた。此の書はイソップ物語なぞと共に、家庭に一本を備へればならぬ書であると信ずる（九十錢　東京神田駿河臺下東明館筋向　大盛堂）

▲新家庭講話（小此木武子氏著）　永らく米國で勉強して歸へられた、武子女史の著で、社交、食堂と臺所、改良洗濯法、家庭科學、米國みやげ話など、家庭の御婦人方の注意せねばならぬ色々の問題を、新しい智識と觀察點から話されたものです。私は此の書を一讀して種々利益を得ました。左に私の面白いと思つた、一二節を紹介しましよう。

△各國から來てゐる（米國へ）婦人のうちで、フランスの婦人はよい家庭の給仕人か保姆、または上物の洗濯女などに雇はれます。ドイツの婦人は主に料理人になるやうです。イメリイの婦人はよく飯屋の給仕か下働きをして居ります。支那の婦人は女中奉公はしてゐませんが、至る所に賤業婦をしてをると申されます。日本の婦人は萬屋で、何にでも當てはまります、しかし日本婦人はあまりにきしや過ぎて骨の折れる仕事ができません——又能く約束した時間を誤つたりして、言譯ばかり致します。

▲彼地の十代の娘の頭がどれ位發達しておるかを一寸御參考の爲め……或女學校を卒へました一人の娘が婿選びを致しました時に、各方面の人が求婚者として集まりました。內一人はエール大學の卒業生で未來有望の學者と云はれておりました、或日曜日其娘の宅をおとづれましたところ、此人はどうしたものか靴のちりが拂つてありません上に、髮もきれいに手入れが出來てをりませんでしたものですから、娘は此人を圓滿な常識の發達した者と認むる事が出來なかつたのです『天才肌はよいが圓滿な家庭の人ではない』と。それからモウ一人は實業家でした、或夜此娘を連れて芝居見物に參り歸に自働車で自身娘の宅まで送りました、其時に此の若者は五弗の金を出して剩金は要らぬと申ました、あとで、娘の申しますには『自宅迄電車で十仙で來られるものを五弗もやつてつりはいらぬと云つたあれは馬鹿の骨頂で、實業家として見込のない男だ』と云つた樣な風でちやんと一個の見識があるのです。

此の樣な、面白い御話が、書中至る所に散在して居ります（八十錢　東京市本郷區駒込坂下町四十八　大日本雄辯會發行）

▲近松の人々（高須梅溪氏著）　近頃は暫らく近松に遠退いて居ましたが今回梅溪氏の此書を讀みて、大變面白く感じました。併し慾を云へば今少し原著の荒筋を紹介してあつたら。近松を讀んだとのない人にも、面白かつたろうと思ふ。著者の前著『平家の人々』も感慨に滿ちた文章だが、此の書も實に感慨に滿ちた文章である。（六十五錢　東京淺草區下平右衞門町九　岡村盛花堂發行）

▲婦人解放論（西川文子女史著）　いよ〳〵出版になりました。此の書に對する社中同人の細評を次第に掲載します。（一圓　東京本郷區元町二の三十　中央書院發行）

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

新眞婦人短歌

小口みち子選

東京　正親町　ゆみ子

美しき春のめざめをおぼえつゝ、おとろへし身をひとり悲しむ

君と別れ冬ざれの野に草ふめば、日はあか〳〵ともゆるなりけり

春はまたかの高臺のわざんぎの、紅きまふらにたちそめにけり

東京　片桐くみ子

なべて世はまゝならぬとは知りながら、まゝならぬ世を喞つ愚かさ

うちあけし便りは嬉しさりながら、心つくせぬ筆のかなしさ

恐ろしの夢よりさめて冷汗に、五體の力もぬけて悲しき

大阪　みやま

新らしき女ならねどくりかへす、小さきライフに飽きもするかな

お座もちが上手になりしとほめられし、廿あまりの春の淋しさ

東京　吉波頁子

禪門の更け行く庭に木蓮の、一ひら散りて音のありたる

温室のかはゆき胡瓜摘む人を、サタンと云ひし吾や狂へる

黄昏や伽藍を包むにぶいろの、もやに消えゆく色よき比丘尼

孝と云ふ苦しき文字を習ひ得て、嫁かず死なず斯くてある人

大阪　藤井夕子

鈴ならし鈴ならしつゝわれら行く、名知らぬ山の峠茶屋まで

小雪する夜はうら淋しはたごやの、人に交りて笑みても見なむ

ちら〳〵と大和の國に雪ふらば、此旅の子も悲しきものか

神奈川　小川碧水

せむもなき生れついての我身かな、よめど作れどよめどつくれど

選者

我いのちのむと大河は流るゝや、やよひの月のあさぼらけかな

新眞婦人俳句

すみ子選

たろみ帆の曳かれて上る柳かな　吉原とみ子

若布干す繩引張るや葱畑　同

雨晴れて峠路暑し花馬醉木　同

糟糠の妻海苔焼いて物足りぬ　同

黄表紙をふせて日永の欠かな　吉澤頁子

山川を唸りて越しぬ放れ凧　同

六尺の髪解く椽や海棠花　同

壁立つや雛に喰はれし坊主蕪菁　同

書を讀めば興移りして日の永し　澤村園子

枝垂れて暖簾を濡らす柳かな　同

潮退し浦の海苔麁朶陽炎へる　同

焚火して夜を守る衛士や梅寒し　同

春潮に浮く回廊の灯かな　同

陽炎や張板燃ゆる緋友禪　片桐くみ子

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

大原女が唄の家路や花曇り　同

春風や堤下道を瓶拾ひ　同

京を出て舟の淀川東風渡る　同

うらゝかや臺場わたりの眞帆片帆　同

○投句者諸姉に

先般來同人の方より俳句の選を依賴され、まだ勉强中の事故堅く御辭退致しましたけれども、强いて懇望されましたので、餘儀なく御引受け申しましたもの、皆樣の立派な御作句を拜見致しましては、今更乍ら汗顏の至りで御座います。然し折角初めたので御座いますから、出來得る限り努力致しまして、皆樣と御一緒に斯道の研究を續け度いと存じます。何卒皆樣も御名吟などし〳〵御投稿下さいまして、本誌の擴張と共に本欄の隆盛となる樣御盡力の程切望致します。

それから懸賞は同人の方の意見により、一時見合せる事になりました。實際私共が拜見致しましてある場合には等級をつけ兼ぬる事もありますし、眞面目に研究致すには懸賞等附するは面白くありませんから其方が宜しいかと思ひます。今回は暇なくて見合せますが次號からは一句一句に就て妄評をさせて頂くつもりです。

尚ほ、諸姉の御仲間で句會でも御催ならば、其會報をも何卒御送り下さる事を希望致します。

▲三銀の組合お膳部 箱入

凡て料理は容器のよし惡しにより、食べぬ前から、美味とかまづいとか云ふ感じが起ります、殊に素人料理では此の容器が最も客の眼を惹きますから、是非とも見て心持の良いものを使はねばなりません。

三銀賣出しの素人料理組合ひ五品揃ひは、專ら斯う云ふ考から案出したもので風雅で實用向きで四季*を通じて用ゐて差支の無い樣に新意匠を凝らしたものであります、此組合せ五品揃さへあつたら、何時不意にお客があつても御料理を美味く差し上げることが出來ます御家庭に是非一揃ひは御備へ付けになる方がお宜しいと思ひます。

廿五個揃
一人附皿五人
向附丼五人
吸物茶碗五人
御膳茶碗五人
小皿五人

（金五圓）

東京銀座通新橋際
自製陶器舗
新橋
三銀

會費 毎月 金壹圓

三銀好の珍陶器を毎月配達致升一年に(參圓)の景品が有升から實益と興味を兼た趣向配送品に進物用に仕上て有升

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

第三回蛙聲會の記

太正三年第一回の蛙聲會を森川町五十二番地尾崎恒子様のお宅で開きました。

格子戸をあけて御案内を乞ひますと容易にお返事がありませむ眞正面に仔細ありさうな物が目に入りますのでそれをよみ下しますと、

　新眞婦人の姫様がたへ

　　小庭の狸が申上候

皆様よくぞお越し被下お嬉敷誠に見るかげもなき草の庵、六疊一と間のかり家なりとてお笑ひ下さるまじく、庵主が五尺に足らぬ小軀を入るゝに充分なる樂天地だれに遠慮御座なく候まゝどうぞ皆様、今日こそは人間界の窮屈な義理や階級サラリと捨てゝ一つ穴の狸となり尻尾を出してお遊び下され度、惡口結構、氣焔妙々、まぜつかへし殊更賛成、ならば穴より見たる人を觀、さては戀より生れし人の子の昔の夢のローマンス、人知れずこそ焦るゝラバーの甘いおはなしも時に取つての御一興と、是は狸が所望に御座候。

さて何の風情も有髪尼庵のならゐとて都會式おもてなしは致されず候へど山の落栗、瀬戸の銀杏など拾ひ集めて尼が手製の狸飯下から讀んでも「たぬきぬた」など澤山用意いたし候まゝ皆様どうぞ狸のはこ〳〵ぽん〳〵とおなりあそばすまでお重ね下され度、梔子の花にも似たる小狸があかき心を描き狸毛小毫に通はせて、まづは一筆あなかしこ。

かう云ふ覺悟の臍を固めないでは足一歩此室内へふみ入れる事が叶はない、御主人が御主人だけにお客も一通りや二通りの骨折りではありませむ。

かう云ふパプテスマを受けて顔が並んだのは正二時。

御主人が有名な狸趣味を鼓吹しやうと云ふ無名の哲學者です、狸の置物狸の幅お茶碗から何からお道具の端に迄が狸の獣か狸の形か、こゝへ集まつた有象無象の形相迄が狸であられば收まらぬと云つた程の物凄さ、昔私が至つて少さい時、お祭りのおすしを餌に狸を釣つて、暫らく見世物のやうにおもちやにしてとゞのつまりは殺して喰べて終つた、何でも外の人達ちは厭がつたのを女中と私とだけは平氣でたべたとがあつた、尤も殺したのも釣つたのも下手人は親戚の腕白で、私は毛臭い肉を二片三片喰べたのに過ぎないが、もしや此話を明白にしたならば、御主人は私を睨め殺してお終ひになるかも知れませむ、恐しいこと〳〵〳〵。

だつて狸だつて時々惡い戯れをしないことはありませむからちつとばかり狸の惡口を云つたつてわるくはなさそうな物ですが、そこがそれこちらはお客様、お客様はお上品に構へて何でも御主人のお好きな物は賞めて置くのが禮式です。狸はほんとうに結構なお毛物様です

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

われ、本當ですわ——、

蛙聲會には相違ありませぬが今日は東北地方救濟の方法について下相談をする大切なる眞面目なる會合でしたので、笑話も串談もいつも程には賑ひませんでした。

青年會館の演説會の順序やら路傍活動の方法やら、分擔やら、で大分八釜しい六つかしい事でした。

お宿元では大そうな御馳走のお支度が出來て居りましてそれ／＼御遠慮なう頂きそして日がとつぷりと暮れてから四方へ散々にさやうなら。

此日お互ひに面白い告白がありました、遅くなつて歸る時家に近くに従つて胸がどきつくと云ふ、これは家を持ち子を育てゝ行く主婦の心持ちとしては誠にしかあるべきはづだと云ふのでやつと安心をした氣の小さい可愛らしい方もありました。

尾竹一枝さんと丹稲子さんが御出席下さつたとを特筆して置ます。

愛陶會の珍趣向　三銀の愛陶會は目下非常の盛況で毎月僅一圓の會費を拂込になれば毎月三銀獨特の美術陶器が居乍ら送つて貰へるといふ趣向な會で景品として壹年三圓の特別陶器を贈呈される毎月配送品は實用品には裝飾品等季節に因み美麗な箱入で進物用になさつても重寶である今月は何んな品を送つて寄越すかと待ち兼るのも随分樂みである。

申込所　新橋際三銀陶器舗

新眞婦人定價表（毎月一回一日發行）

一冊	（郵稅共）	拾壹錢
半年分	（郵稅共前金）	六拾錢
一年分	（郵稅共前金）	壹圓拾錢

御注意　●注文は總て前金の事前金盡くれば必ず『盡』の一字を朱にて帶封に認む直に送金なき時は發送を停止す●郵券代用は壹錢又は五厘切手にて一割增

◎新眞婦人廣告料　特別面三十圓、一等廿五圓、二等二十圓、普通面十五圓、木版を要するものは別に實費を申受くべし

大正三年二月廿六日印刷納本
大正三年三月一日發行

本郷區駒込林町二〇六番地
發行兼編輯人及印刷人　西川文子

本所區番場町四番地
印刷所　凸版印刷株式會社分工場

東京市本郷區駒込林町二百六番地
新眞婦人社
郵便振替貯金口座東京一二四五五六

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

文藝書類

小品と小説

高須梅溪著　夢二芳麿装
近松の人々
四六版美装　價六十五錢　郵稅八錢

小川未明著　青楓孤雁装
夜の街にて
菊半截九百頁　價九十錢　郵稅八錢

鈴木三重吉著　津田青楓装
赤蜻蛉
菊半截形美本　價四十錢　郵稅六錢

國木田治子等
小説 **小夜千鳥**
四六版美装　定價四十五錢　郵稅金六錢　本文三百餘頁

歌集と詩集

富田碎花著
詩集 **末日頌**
菊判版　定價壹圓　送料八錢

尾山篤二郎著
歌集 **さすらひ**
菊半截形　定價七十五錢　送料八錢

中村秀浄著
詩集 **心の故郷**
四六版形　定價六十錢　送料八錢

東京淺草　柳橋通り
岡村書店
振替東京　一九〇六五

東京高等師範學校教授 佐々木吉三郎先生序
東洋大學講師 高島平三郎先生序

最新刊

家庭に於ける兒童教養法

菊地庄次郎先生著

近時家庭教育書の出版少しとせず、然れども特に小學校兒童に對する家庭教育法を説きたるもの甚だ少なし偶々之れありといへども僅に學校家庭間の聯絡關係の必要を理論的抽象的に述べたるに過ぎずして常に父兄なり母姉たる人の切に知らんとする復習豫習より昇校前、退校後における取扱ぶり、さては日曜祭日夏季冬季の長期休業に對する實際的教養法を述べたるもの殆んどなし著者は多年此種の問題に傾注し幾多の經驗を積まれ深き自信を有する人也、今保護者の要求より特に家庭の人となりたる小學兒童のあらゆる場合に於ける取扱法を如何なる家庭もなし得らるゝ程度如何なる學校も要求され得る程度に於て具體的に詳述したるものなり。

菊版函入美本
定價金八拾錢
送料金八錢

最新刊

格言お伽噺

藤川淡水先生著
池田永洸畫伯裝幀

四六版上製裝釘頗美本定價金五拾錢送料六錢

本書は著者獨特の輕妙なる筆を以て、聖賢偉人の格言を布衍し二十餘篇の教訓お伽噺となしたるもので面白く可笑しく書き綴りたる物語の中に智識の結晶、眞理の珠玉たる格言の妙味を鹽梅し、知らず識らずの間に少年少女の品性修養書たらしめんと企てたるものなるを以て、少年少女に取りては此上もなき好讀物たるのみならず亦學校家庭の訓話資料として無二の良書なり

藤川淡水先生著
小川千甕畫伯裝幀

忽ち再版

論語お伽噺

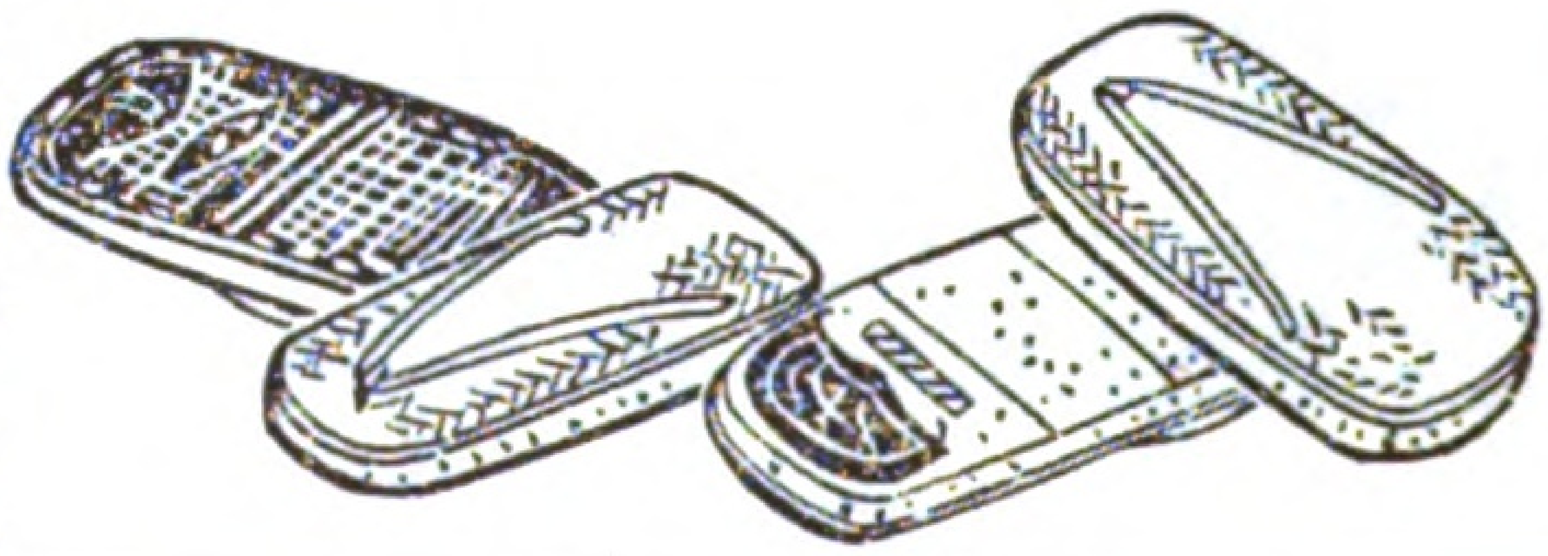
四六版上製函入 裝釘頗優雅
定價金七拾錢 送料金八錢

發行所 東京市神田區小川町四十一番地 敬文館
振替東京一二三三六
電話本局四八五五番

足觸(あしさわ)りが柔(やわら)かて履(は)き
心地(こゝち)が最(もっと)もよい
藏前 ◎◎◎◎◎
コルク草履
は斬新で最も氣の利いたものであります實用向にはかようなものを
選擇せられよ！

コルク火鉢

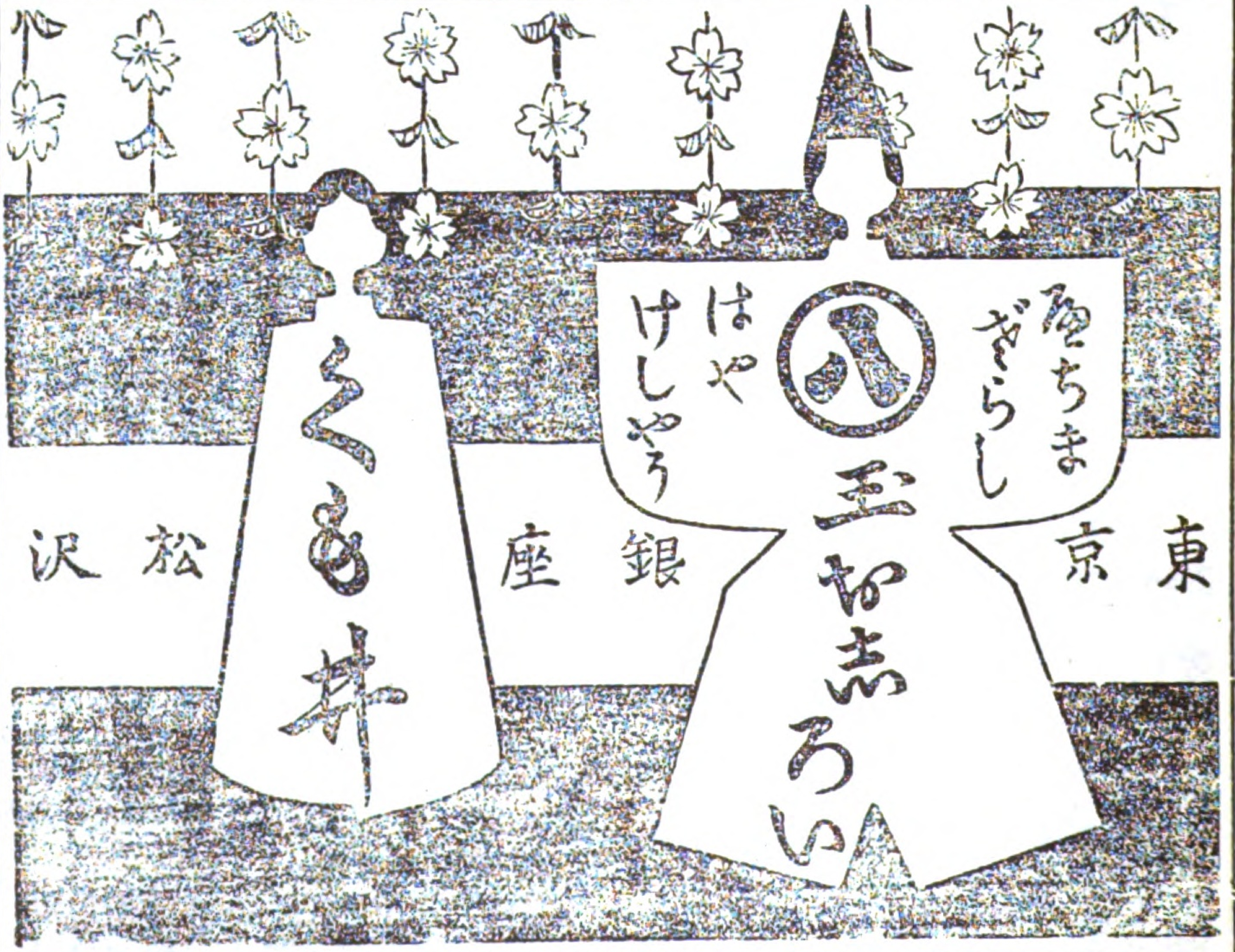
▲彈力性コルク草履に就て
岡田醫學博士曰く履物としての衛生的なるものコルク草履の如き彈力性に富んだものがよい殊に腦の惡い人や病後の步行等には最も適切である。猶公衆衛生から見て街道步行より危險なる病菌を履物の裏に含ませて屋内に搬入する恐があるがコルク草履は其恐がない、▲コルク草履は足觸が柔かで頗る履心地がよい、そして彈力性に富んで居るから他の履物に比べて足が疲れない、只今東京では大流行である。



▲コルク製品
下駄、火鉢、シガレットケース、花盛器、筆立、スタンプ臺其他種々あり特約販賣御希望の方は御申込み次第詳細御回答可仕候

コルク草履定價
男物大形。パナマ表付九十錢　女物同八十錢
小供物卅五錢より六十五錢迄外に鼻緒十錢より五十錢まで御好に應す。

東京市淺草區藏前南元町十二
電話下谷二二一九七番
山元屋



醫學博士 弘田長先生增訂
文學博士 佐々木信綱先生校
故 小原頼之先生著

育兒日記 親ごゝろ

賜天覽……文部省認定書……增訂第六版發行

本書は嘗て皇孫殿下の侍醫たりし小兒科専門の國手故小原頼之先生の著にして全編を日記體にして小說のやうに組立てられ讀み易くして面白く綴られたるものにて祖母なる人が孫兒十餘名に對し衣服食物の注意より病氣の看護轉地の狀況等其日々の事を生誕より十年間に亘りて記述し其時々の應急手當其他育兒に關する一切の注意を細說せられたるものなれば小兒ある家庭にはなくてならぬ者なり況してや年若き初めて產兒を擧げし母の爲には我が慈母の膝下に在りて親切なる注意を與へ與へらるゝより遙か以上に價す、殊に今回弘田博士に增訂を請ひて第六版を發行せり製本亦美麗生辰祝賀の贈物などに此の上もなき良書なり。

菊判 全一冊
和本箱入美裝
紙數五百餘頁
特價一圓十錢
小包料十二錢

文學博士 芳賀矢一先生序 稻村修道先生編

大正 青年新讀本

新時代の青年に必要なる新智識の獲得に資すべき材料は幾多既刊の類似書中最も豐富也、其の內容は、現今の時勢・大日本帝國の現狀・國體・忠君愛國・飛行機・曆法・法制經濟の大要・農工商の一般智識と夫等各階級の模範的人物の性行と敎訓・世界各國の代表的人物・德育上の訓話・書翰文の作法・漢文の初步及び趣味の養成に資すべき詩歌の類等――進步せる敎授法を應用して組織的に排列したる各材料は主として現代大家の普通文及び談話筆記を以てす――本書は實に青年補習讀本の完璧也

菊判 和本綴
前編 全一冊
後編 全一冊
各定價廿五錢
郵稅四錢

正田梅華先生著 河村英忠畫伯挿畫裝幀

謠方研究 謠曲問答

洋裝頗美本
菊判全一冊
紙數三百卅頁
正價金八十錢
小包料金八錢

正田薰香編著

謠曲福引集

菊 半截
全 一冊
正價 廿錢
郵稅 二錢

笑ふ門には福來たる宴會等のお笑草には福引の餘興に如くはなし、本書は上品にして趣味深き謠曲二百番中より六百題程を選びて仕組みたるものにて謠會などには福引にて滿場の喝采を得んとせば是非共本書を參考とせらるべし。

發行所 東京神田美土代町三の一 振替口座東京三三〇七番 (電話本局一二六四) 富田文陽堂

季節向き化粧品陳列

御婚禮御化粧法

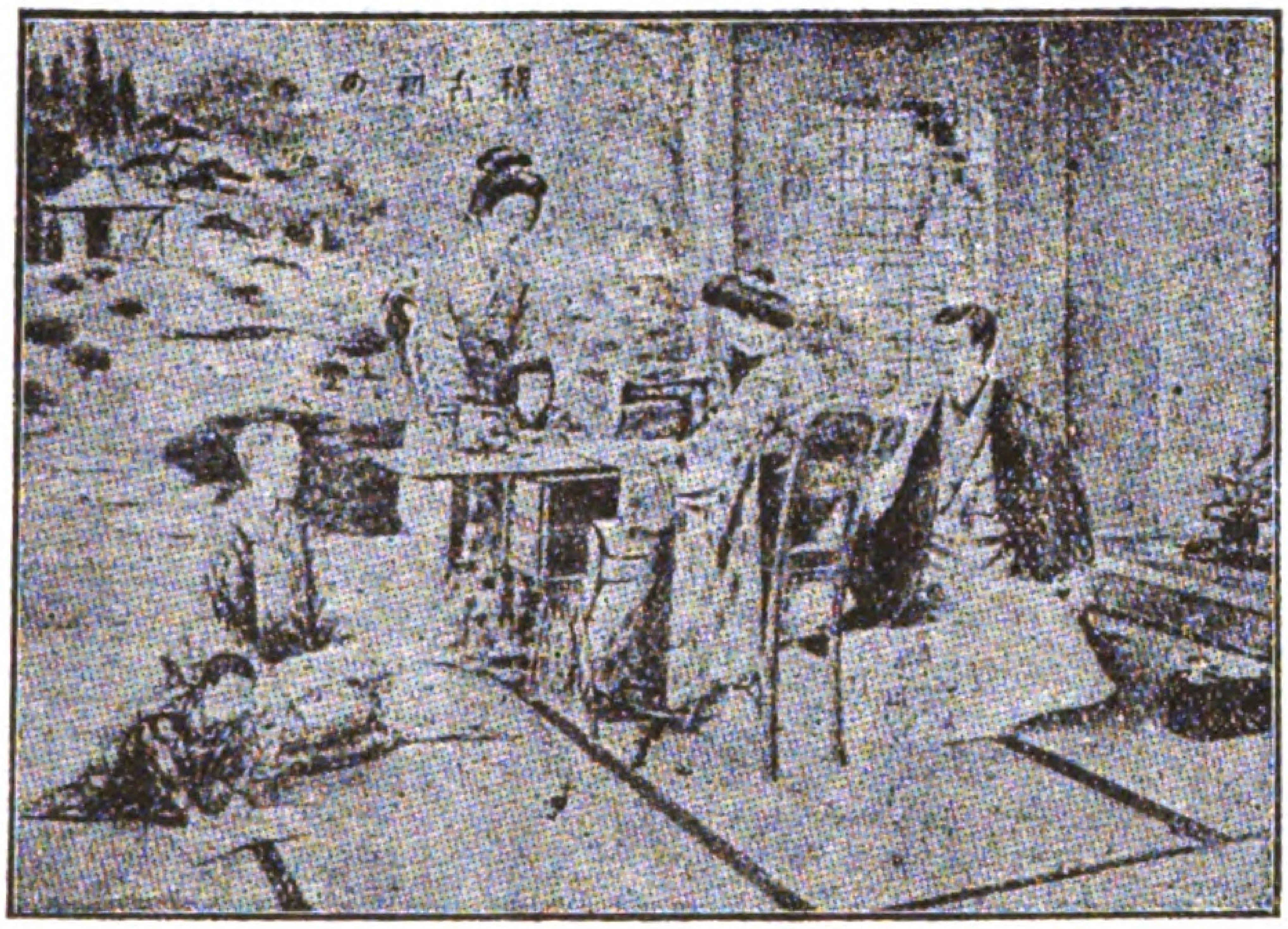
右御化粧法の義は當館々主多年の經驗により御素顔の美を損ぜぬやう又お召物との配合光りの接觸等入念なる注意と熟練せる技術とによりて御用命に應じ申すべく陸續御申込み相なりたく伏して希望いたし候

尙ほ季節向き御化粧品種々取り揃へ御注文に相叶ひ候やう陳列致しあり候外個人的にして一つの美術とも申すべき化粧法に關し當館多年の經驗により御相談の御相手たるべき事を確信致し居り候

東京市京橋區
竹川町一二
理容館
電話新橋一五一九
振替口座東京一四一〇〇

御化粧法の御相談相手

○弊社販賣部には熟練なる女教師在勤、無料にて教授を致します。出張教授も無料で致します。



東京市日本橋本町二丁目九十番地

シンガーミシン會社

東京販賣部

電話本局一九八〇番

○手ミシン四十圓より五十六圓位。足踏臺ミシン六十五圓より百五十圓位。その他格安品も澤山準備してあります。

輕便謄寫版の特色

▲活版印刷よりも駿速にして石版印刷の如く美麗です

▲今迄の謄寫版の樣にルラーに印肉を附けるのでないから衣服手先等を汚ごす憂がありません

▲僅か一錢内外の藥品で何千枚でも立所ろに印刷が出來ますから銀行會社商店等は勿論時間と經濟を重んずる家庭には是非共必要の器械です

▲定價は今迄の謄寫版の十分の一内外ですが數十圓の謄寫版と競べても遜色のある器械ではありません

器械原紙

定價表

器械		
ハガキ判	附屬品付	金三十錢
菊判	附屬品付	金六十錢
半紙判	附屬品付	金壹圓

筆記インキ	
大	金二十錢
小	金十錢
試用	金五錢

原紙		
ハガキ判用	十枚	五錢
菊判用	十枚	十錢
半紙判用	十枚	二十錢

印肉	
大	金六十錢
小	金三十五錢
試用	金五錢

外に送料大十三錢　中十二錢　小八錢を要す

東京市淺草區北清島町百十六番地

齊藤製作所

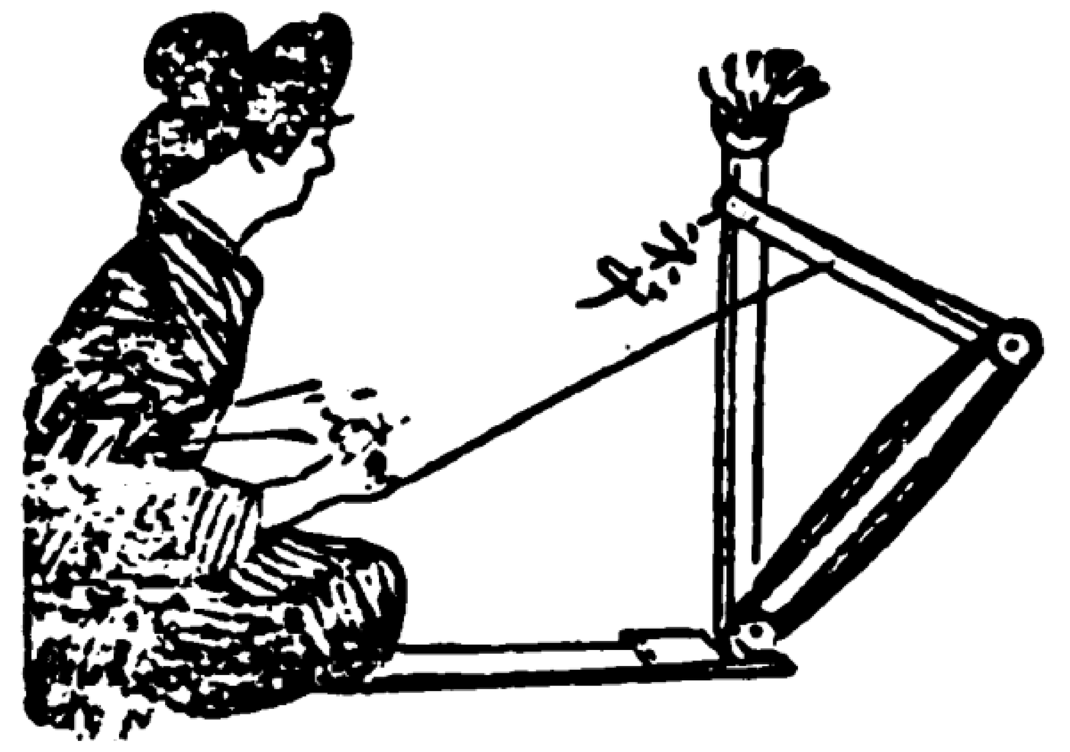
市内地方全國至ル所ニ特約店及ビ販賣員募集

◎御婦人方の新福音

特許 竹中式 絲掛附絎臺

使用法

右絲掛附絎臺は下圖の如く下部にある二個の糸掛車を糸の輪の長短に依りて「ネジ」鋲を以て自由に「シメ」糸口を中央にある輪に通して糸巻に巻く時は二個の糸掛車は自由に廻轉して他人のお手を煩はさず糸の亂れるが如き心配なく單獨にて容易に糸巻に巻くことを得て輕便此上もありません是非御使用を願ひます



定價

本朱塗製 金七拾錢（美麗箱入）
御誂黒塗製 金六拾錢（同）
特製 金參拾錢（同）
上製 金貳拾五錢（同）
並製 金貳拾錢（同）

○市内は壹本にても御一報次第無料配達可仕地方は金拾貳錢申受候

製造發賣元 東京市青山 竹中商店

電話芝二千八百八十四番
振替口座東京三二二三番

●特約販賣お望の方は至急御來談あれ

產科婦人科小兒科

女醫 鷲山改め 吉岡彌生

院長診察 宅診午前 往診午後

醫員診察 午後

產室及病室の設けあり随時入院の需めに應ず

東京麴町區飯田町四丁目卅一番地

東京至誠病院

（電話番町二二五七番）

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

醫學博士 北里柴三郎閱
醫學博士 柴山五郎作著

增訂 **最近之肺結核療法** 第十三版

紙數二百餘頁・正價金壹圓貳拾錢・密封郵稅八錢

肺結核は容易ならざる疾患なり然れ共初期に於て正當なる療法を加ふれば全く治癒す本書は此の正當なる療法を述べたるものにして特に**第十三版に於ては『ツベルクリン』**療法の勃興に伴ひ實地使用者の便に供せんが**爲め**に最も實地的懇切に書き改めたり醫家は本書によりて患者に**實示**すべき方針を知り患者は本書に依て醫家命令の理由を會得し二者相俟つて治癒の彼岸に達するを得ん

内容目次

○衛生食餌療法○營養療法○食欲不振○牛乳療法○營養製品○肉類及蛋白質製品○脂肪製品○飽食療法○乳清及葡萄療法○空氣療法○強練法○運動及橫臥法○日光浴及空氣浴○呼吸操法○精神の使用○患者の日課○室內衛生○轉地療法○氣候療法○海濟療養所○航海○內地療養所○高山療養所○療養所の條件○醫の監督及病院療法○療養の時日○肺勞の衛生食餌的療法○衛生食餌的結核法の學說に對する試驗的追加○結核療法に於ける氣候及海上旅行○藥劑療法○特異療法○ツベルクリン數件○結核血清療法○理學的療法○外科的療法○對症療法○熱○盜汗○咳嗽及咯痰○咯血及血疾患痰○疼痛○呼吸困難○心臟衰弱○不眠症○消化障害○貧血○喉頭疾患○諸他の注意○比較的治癒に於ける注意

○衛生講話 **婦人の友** 產科婦人科 渡邊光次著 價五拾五錢 郵稅八錢

○**姙產婦の心得** 一名安產育兒法 價卅五錢 郵稅四錢

○普通**臨床看病法** 醫士關氏著 價卅錢 郵稅四錢

發行所 東京神田鍛冶町 振替口座四四七二番 **誠之堂書店**

東京市京橋區南鍋町壹丁目四番地

ラヂウム專門療院

電話新橋參〇壹六番

院長 ドクトル從五位 渡邊鼎

●イボ痔●裂痔●痒痔●痔出血●脫肛痔●痔瘻●不灼不切現狀の儘にて治癒奏効頗顯著の**家傳**靈妙藥あり「**ハガキ**」にて申込有ば病原理由自宅療法の說明書送呈す

京橋疊町小松盛林堂

腦病精神病専門

東京巣鴨町四丁目巣鴨電車終點先二丁

巣鴨腦病院

（長電話番町三〇九八）

院長　醫學博士　石川貞吉

入院隨意

ね小便 近小べん

治効確認禮狀感謝狀日々來着奏効豫期以上直接來院すれば施藥規定もあり遠地又事情にて來院出來ざる方に新式ね小便根本療法書無代呈す藥品部宛ハガキ申込め

東京本所區中ノ郷元町
電話本所三三四二番
東京新療院

腦神經精神病

東京赤坂
帝國腦病院改
青山腦病院

院長　ドクトル メヂチーネ　齋藤紀一

醫學士三名

田澤醫學士

特長電芝二七四五
電芝二二六六五
電芝三四〇六

月やく

月やくとまり御心配の御方又月やくの爲に御なんぎなさる御方は三錢切手封入御手紙下さい、からだに害なくよく下りる良藥祕密に御知らせ致します

東京市小石川區大原町一六
栖原のぶ子

◀新らしき時代の要求は此粋薬▶

外出がちの私の顔がこんなに美くしいのは此の化粧水？成美液よ！兄さんもお父さんも内々の愛用家なのよ

▲成美液を用ふる男女は何時も顔が艶麗で日にやけることもなく白美を保つは外用剤として完全なる化學的白色新劑なり先一瓶を試せ

僕のにきび顔が斯く迄に綺麗になつたは矢張成美液の御蔭です、

定價小瓶十二錢◎中瓶廿五錢◎大五十錢◎持大壹圓◎送賃四錢

月やくを程よく下す薬

◎流經散（りうけいさん）

此薬は月經を下すに胃腸を害する副作用なく安全に自由に流下致し升三四ヶ月又は五六ヶ月の閉止も特製を連服あれば必ず効があり升▲月經異状の爲に頭痛のぼせ又は腰腹痛み子宮筋ばり等奇妙にきく毎月三日分服しおけば月經止る事なし

三日分十五錢◎七日分卅錢◎十五日分十六錢◎特製金壹圓送賃不要

◎愉快なる理想薬◎

外用 平和劑

大器入特製金貳圓中器入壹圓也小器入七十錢其半分入四十錢送料各二錢

進歩したる外國で賞用の粋薬に眞似て貴重なる原料を配合したる新薬なり付れば忽ちむづかゆくなる心地する創傷や濕瘮に不思議にきく其他効用多々先づ用ひ見よ委細は言はず

◎毛の養生 發毛液 小瓶三十錢 中瓶五十錢

子宮サック 甲種金壹圓 乙種七十五錢

男女の下の病に關する治療薬何でもあり

説明書は切手三錢封送あれ送呈 ◎ 東京神田區五軒町壹番地 寶順堂薬房

〒電話下谷壹參貳壹番◎振替東京四六七壹番

産婆看護婦派出
生徒養成

東京市芝區三田四國町二番地五號
東京衞生團 産婆看護婦部
電話芝八百六十四番

部長 産婆看護婦 山下まつ子

府下荏原郡大崎町大字桐ヶ谷三百五十九番地
産婆部 大崎支局

皮膚病一切
たむしの妙藥
タムシン
東京市京橋區入舟町四丁目
東京本舗 橋本進世堂

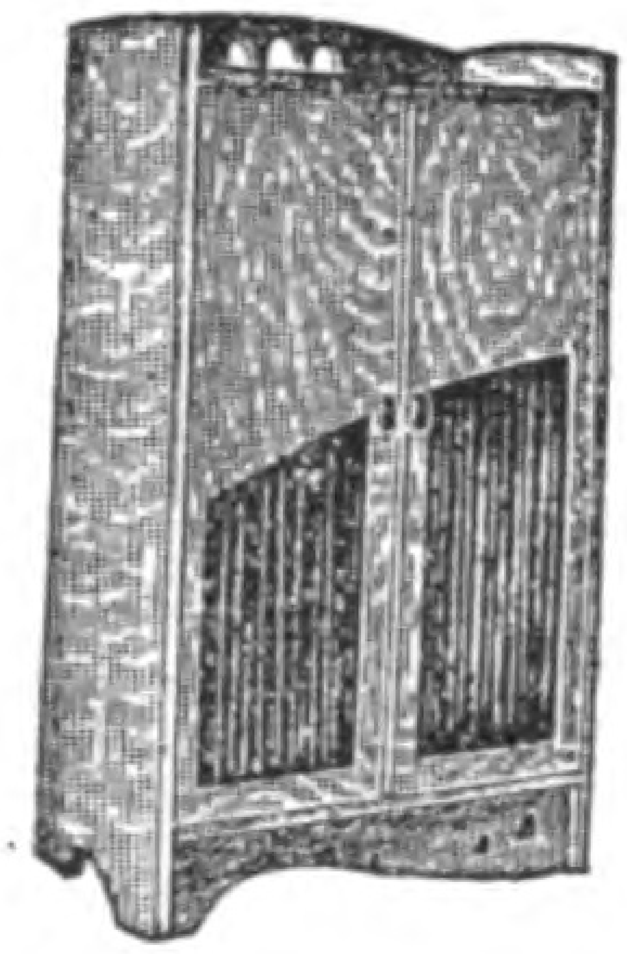
斯くしてリウマチスは全治せり
▽井筒屋藥の奇効…………

リウマチスの恐るべきは一般世人の知る所である決して不治症ではない、奇効卓絶の靈藥井筒屋藥を用ひたならば、決して不治を喞こつ必要はないのである、永年醫藥を用ひて効果無かつたものが我家傳の靈劑井筒屋藥を用ひて全癒した實例は枚擧に遑はない、世の所謂新藥さか新發見奇藥さか、稱するものに惑さるゝなく、速かに我井筒屋藥、外用劑を試用して一刻も早く其痛苦を去らよれ

藥價
五日分 五十五錢
壹週分 七十五錢
貳週分 一圓四十錢
（送料四錢八厘）

東京淺草仲見世天勇横町
井筒屋油店
電話……下谷三一五番
振替口座一九六五二番

不思議によくきくあせもやけの妙藥
あせもやけ根切藥
◎各藥店にあります
猿馬印に御注意あれ
本舗 東京上槇町 支那安東縣 安川晃榮堂
定價 廿錢 十錢 五錢



階上

先頃増築に伴ふて階上も亦廣くなり申候　異國情調の智識的實用向趣味的實用向の文房具が澤山陳列有之候御高覽お待受申上候

そのうちに楢材に白ラックを施し優雅清洒を極めたる机と本箱と本置臺などもあり殊に御高覽お待受申上候

机	高一尺貳寸	間口貳尺四寸	奥行一尺三寸	金五圓也
本箱	高二尺六寸	間口一尺五寸	奥行九寸	金九圓五十錢
本置臺	高一尺三寸	間口一尺四寸	奥行八寸	金三圓五十錢

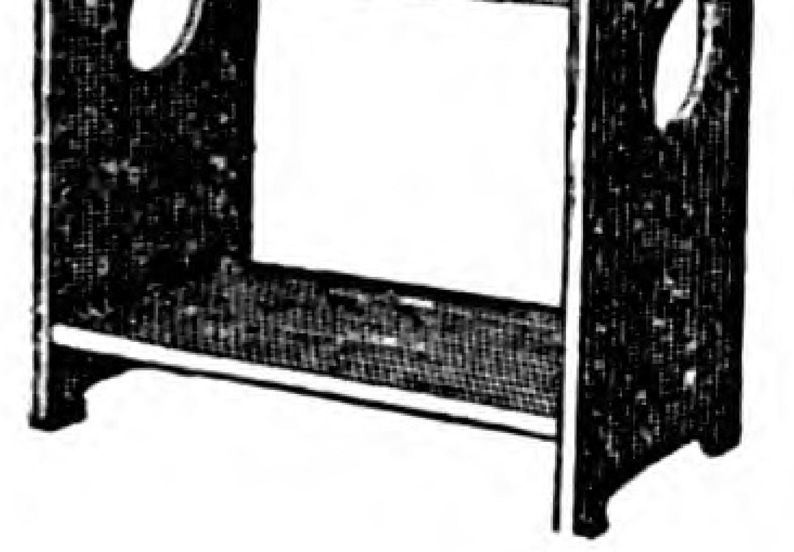
荷造費　机と本箱八十錢　本置臺三十錢

東京銀座

伊東屋

電話新橋　一三二九　一七九六

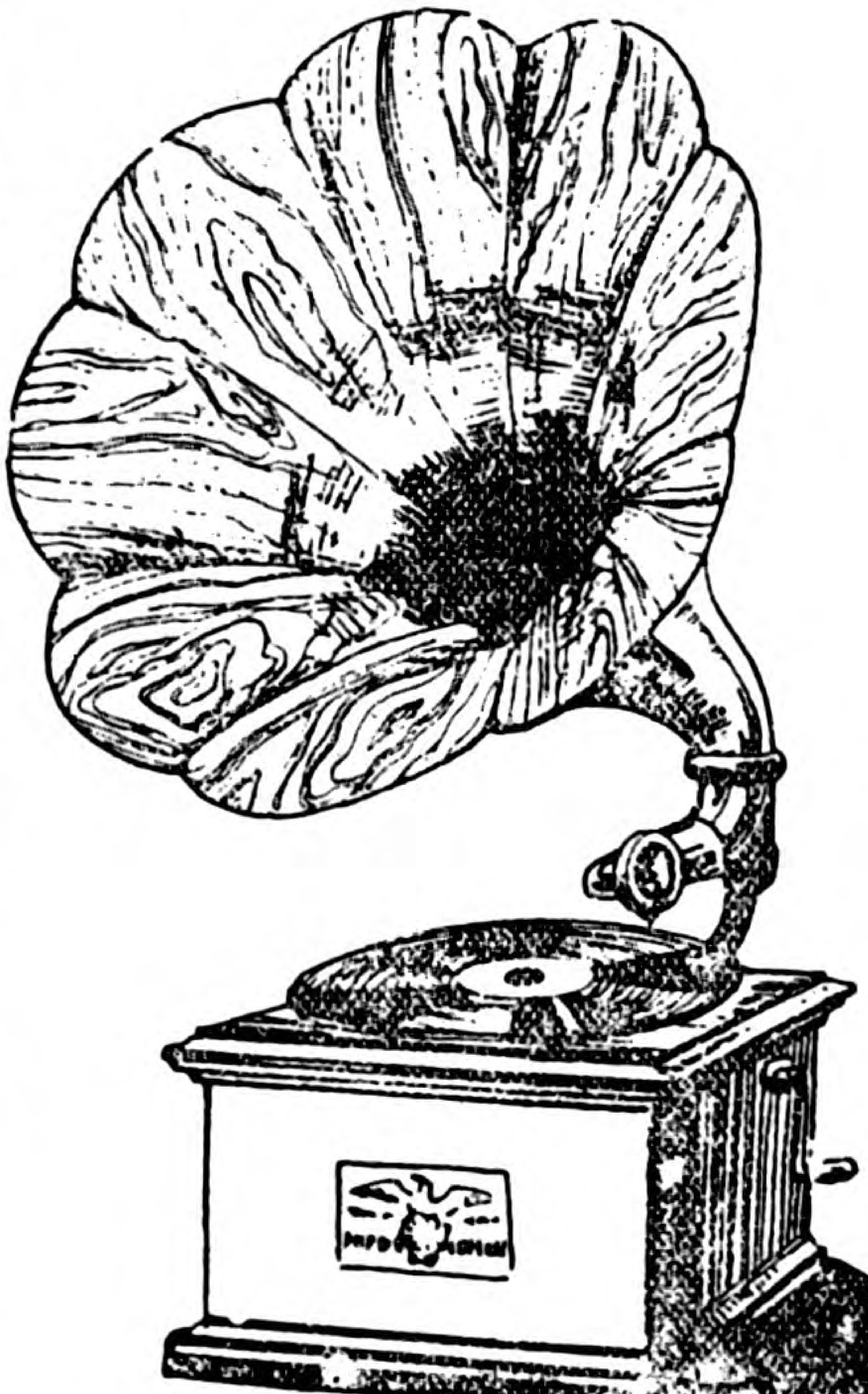
振替口座　五一一一



日本蓄音器商會の一大提供

機械三十五號は今回大改良せられオーク材木製ラッパを附て

金三十五圓



新音譜大賣出し

五四 五五	赤紙印 兩面盤	浪花節	宇治川先陣（上下）	京山小圓
五六 五七	同	同	靜御前（上） 同（下）	同
一七八三 一七八四	同	義太夫	日吉丸 寺小屋	竹本源太夫
一九八五 一九八六	同	浪花節	安兵衛婿入 五郎正宗	東家樂燕
三二七五 三二七九	黑紙印 兩面盤	同	豊臣太閤記 建久曾我	吉田一若

赤紙印（兩面）二圓　黑紙印（同）一圓五十錢

新刊　日本蓄音器文句集　一冊定價金壹圓拾錢

レコード文句全部網羅し体裁極めて優美

神奈川縣川崎町　株式會社　日本蓄音器商會　電話川崎四九番

大正二年四月二十六日第三種郵便物認可
大正三年二月二十八日印刷納本
大正三年三月一日發行（毎月一回一日發行）

嬉しきホームーンにも樂しきスウヰートホームにも均しく

喜谷實母散 主治能効

▲子宮病　▲血の道
▲白帶赤帶　▲こしけ
▲下腹痛み　▲足腰冷込
▲氣ふさぎ　▲産前産後
▲逆上頭痛　▲難産流産
▲月經不順　▲經期腹痛

改正定價表

			送料
本法實母散	壹貼	金拾錢	二錢
同	參貼	金參拾錢	二錢
同	五貼	金四拾五錢	二錢
同	七貼	金六拾錢	四錢
同	拾四貼	金壹圓貳拾錢	六錢
同	廿一貼	金壹圓六拾錢	八錢
同	參拾貼	金貳圓拾錢	八錢

實母散によりて得たる婦人の健康が第一なり

本舗　東京市京橋區中橋大鋸町　喜谷市郎右衛門

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA